



ウェブペイメントプラス インテグレーションガイド

日本

ウェブペイメントプラス インテグレーションガイド

文書番号 : 10114.en_US-201308

© 1999 - 2014 PayPal, Inc. All rights reserved. PayPal は、PayPal, Inc. の登録商標です。PayPal ロゴは、PayPal, Inc. の商標です。その他の商標およびブランドは、それぞれの所有者に所有権が属します。

この文書の情報は PayPal, Inc. に属します。PayPal, Inc. の書面による承認なしに情報を使用、再生、開示することはできません。

Copyright © PayPal. All rights reserved. PayPal (Europe) S.à r.l. et Cie., S.C.A., Société en Commandite par Actions. Registered office: 22-24 Boulevard Royal, L-2449, Luxembourg, R.C.S. Luxembourg B 118 349.

消費者の皆様へのご注意 : PayPal™ 決済サービスは、シンガポール法上ではストアドバリュー設備とみなされています。よってシンガポール通貨金融庁 (Monetary Authority of Singapore) の承認を必要としません。ご利用の際には、契約条件をよくご確認ください。

免責の告知 :

PayPal, Inc. はこの文書の情報を過失も含めて現状のまま提供しています。PayPal, Inc. はここに含まれる情報に関していかなる種類 (明示、暗示、法定) の保証もいたしません。PayPal, Inc. は、間違いや脱落を原因とする、あるいはこの文書またはこの文書に含まれる情報の使用の結果生じる、あるいはここに記載されている製品またはサービスの適用または使用の結果生じる損害 (直接、間接) に対していかなる責任も負わないものとします。PayPal, Inc. は、ここに記載されているいかなる情報も予告なしに変更する権利を留保します。

目次

はじめに	7
このガイドについて	7
対象	7
改訂履歴	8
マニュアルのフィードバック	9
1 章 ウェブペイメントプラスの利用を開始	11
概要	11
機能とメリット	11
ウェブペイメントプラスのしくみ	12
PayPal エクスプレス チェックアウト取引処理	13
ウェブペイメントプラスの実装の開始	14
2 章 HTML を使用したウェブサイトのインテグレーション	15
シンプルなウェブペイメントプラス実装	15
実装の例	16
HTML 変数 (支払いページの設定)	17
3 章 PayPal 支払いページのカスタマイズ	21
PayPal アカウント設定の変更	22
設定	23
カスタマイズ	31
モバイル最適化支払いフロー	37
支払いページの外観に使用する HTML 変数	39
4 章 ウェブサイトへの iFrame の実装	43
iFrame の実装	44
手動インテグレーション	44
API インテグレーション	46
5 章 API を使用したウェブサイトの実装	49

ボタンのホスティング	49
ウェブペイメントプラスの支払いでのボタンマネージャ API の使用	50
レスポンスで返される URL の使用 (推奨)	50
Form POST の使用	51
公開 / 秘密鍵を使ったボタンの暗号化	53
ウェブペイメントプラスの支払い開始の例	53
BMCreateButton API オペレーション	55
BMCreateButton リクエスト	55
BMCreateButton レスポンス	56
BMCreateButton エラー	56
6 章 Sandbox でのインテグレーションのテスト	57
Sandbox アカountの信用証明書	57
インテグレーションと設定のテスト	60
実装のテスト	60
設定のテスト	61
7 章 注文処理	63
取引のステータスと信頼性の検証	63
即時支払い通知 (IPN) の検証	64
GetTransactionDetails API コールの実行	65
注文対応	65
8 章 暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護	67
暗号化されたウェブペイメントで使用する公開鍵暗号	68
暗号化されたウェブペイメントを使用する前に証明書を設定する	68
OpenSSL を使用した秘密鍵の生成	69
OpenSSL を使用した公開鍵証明書の生成	69
PayPal アカountへの公開鍵証明書のアップロード	69
PayPal ウェブサイトからの PayPal 公開鍵証明書のダウンロード	71
公開鍵証明書の削除	71
暗号化されたウェブペイメントを使用して支払いボタンを保護する	72
保護および暗号化されていないウェブペイメントの拒否	73
付録 A オプションの API オペレーション	75
GetTransactionDetails API	75
GetTransactionDetails リクエスト	75



GetTransactionDetails レスポンス	76
RefundTransaction API	85
RefundTransaction リクエスト	85
RefundTransaction レスポンス	86
DoCapture API	86
DoCapture リクエスト	86
DoCapture レスポンス	89
付録 B ウェブ ペイメント スタンダードからウェブペイメントプラスへの移行 . . .	93
サンプルコードの比較	94
付録 C エラーメッセージ	97
付録 D 通貨コード	99



はじめに

このガイドについて

ウェブペイメントプラス インテグレーションガイドでは、ウェブペイメントプラスの実装方法について説明します。以下の情報が含まれます。

- ウェブペイメントプラスの機能とメリット
- ウェブ ペイメント スタンダードからウェブペイメントプラスへの移行。
- ウェブサイトへのウェブペイメントプラスの実装。
- ホストされた支払いページのカスタマイズ。
- Sandbox テスト環境での実装のテスト
- 注文に対応する前の取引のステータスと信頼性の検証

対象

このガイドは、ウェブペイメントプラスを実装してウェブサイトに取り扱処理機能を追加したいと考えているマーチャントおよび開発者向けです。

ウェブペイメントプラスは、米国ではご利用になれません。下表に記載された国または地域でのみご利用になれます。製品名は国または地域によって異なる場合があります。

国	製品名
オーストラリア	Website Payments Pro Hosted Solution
フランス	PayPal Intégral Evolution
香港	Website Payments Pro Hosted Solution
シンガポール	Website Payments Pro Hosted Solution
イタリア	PayPal Pro
日本	ウェブペイメントプラス
スペイン	Pasarela Integral
英国	Website Payments Pro Hosted Solution

詳細については以下を参照してください

<https://developer.paypal.com/webapps/developer/docs/classic/products/website-payments-pro-hosted-solution/>

改訂履歴

改訂履歴: ウェブペイメントプラス インテグレーションガイド

表 0.1 改訂履歴

日付	説明
2014年5月	ガイド全体で、例で使用するセキュアな決済 URL が更新されました。 すべての例から s-xclick コマンドが削除され、HSS の代わりに HSSS を使用するためのホスト型ボタン ID 例も更新されました。
2013年10月	ウェブサイトへの iFrame の実装 の対応ブラウザリストが更新されました。
2013年8月	Sandbox でのインテグレーションのテスト および エラーメッセージ の章が更新されました。 HTML 変数 (支払いページの設定) の言語コード 1c のリクエストフィールドの可能値が更新されました。 各取引 ID を復帰 URL に付加する PayPal アカウントの設定の 取引のステータスと信頼性の検証 に注が追加されました。 内容と URL が更新されました。
2013年2月	モバイル最適化支払いフロー にセクションが追加されました。 表 支払いページの外観に使用する HTML 変数 の template HTML 変数の値が更新されました。 第 ウェブサイトへの iFrame の実装 章に、モバイル最適化支払いページに関する情報が追加されました。
2012年10月	第 PayPal 支払いページのカスタマイズ 章に、支払いページのカスタマイズに関する新機能の説明が追加されました。
2012年8月	対象 セクションが更新されました。 例の中の終点が更新されました。
2012年7月	サポート終了予定の HTML 変数 shopping_url への参照が削除されました
2012年6月	<ul style="list-style-type: none">• HTML 変数 (支払いページの設定) セクションの請求先住所フィールドの要件が更新されました。• 文字制限に関する注意が、HTML 変数 (支払いページの設定)、支払いページの外観に使用する HTML 変数、および BMCreatButton API オペレーション の各セクションに追加されました。• 2 章 および 5 章 の HTML のサンプルが訂正されました。
2012年5月	iFrame に対応するブラウザ一覧に IE9 が追加されました。

マニュアルのフィードバック

このガイドを向上させるため、次の宛先へフィードバックをお送りください:

documentationfeedback@paypal.com



はじめに

マニュアルのフィードバック

1

ウェブペイメントプラスの利用を開始

概要

ウェブペイメントプラスは、カードまたは PayPal アカウントを資金源とする支払いをマーチャントが受け取ることのできる、決済プラットフォームです。このソリューションは PayPal がホストしています。クレジットカード情報を自社のウェブサイトで取得したり保存したりする必要がないため、PCI コンプライアンスへの対応に役立ちます。

ウェブペイメントプラスは、すべての財務情報が PayPal によって処理されるソリューションを希望するマーチャントに適しています。

PayPal では、ウェブペイメントプラスに加えて PayPal エクスプレス チェックアウト ボタンをウェブサイトに導入することをおすすめしています。ボタンは支払いフローの早い段階で表示され、既存の PayPal アカウント所有者に PayPal を使用する機会を提供し、これによって取引の完了率が高くなります。

機能とメリット

ウェブペイメントプラスには以下の機能および特典があります。

- **PCIコンプライアンス** - 支払いカード業界(PCI)のデータセキュリティ基準は、世界的なセキュリティ基準で、カード所有者情報を収集、保存、処理、転送するすべての事業に適用されます。PayPal のホスト型支払いページを、自社の事業の PCI コンプライアンス ソリューションの一部として使うことができます。

注： ウェブペイメントプラスの導入は PCI コンプライアンスへの対応に有効ですが、必ずしもそれを保証するものではありません。

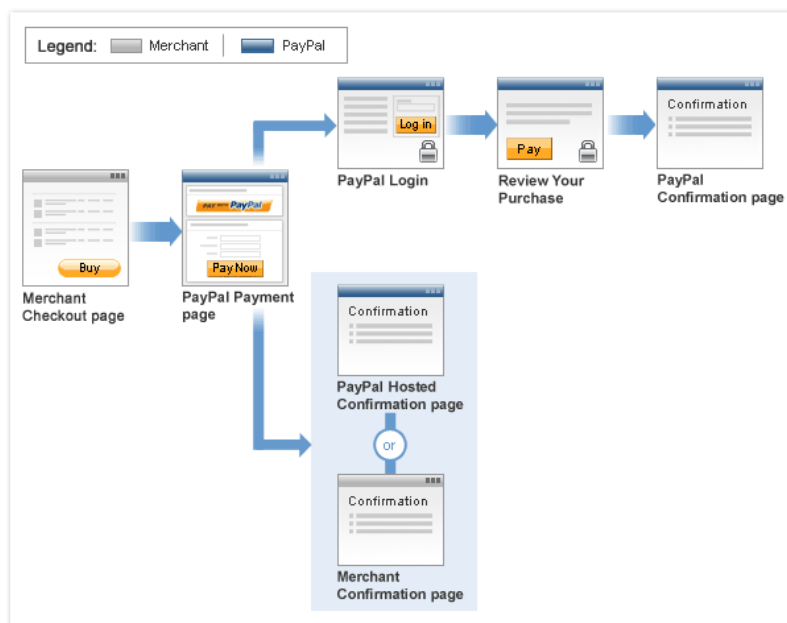
- **iFrame のサポート** - PayPal では、ウェブサイトに iFrame を実装できるコンパクト支払いフォームを用意しています。買い手はマーチャントのウェブサイトで支払いを完了し、マーチャントはコンパクトフォームを囲むマスターフレームを維持できます。クレジットカード フィールドはコンパクトフォームの一部なので、この情報を別に収集する必要はありません。詳細については、[“ウェブサイトへのiFrameの実装”\(43 ページ\)](#)を参照してください。
- **バーチャルターミナル** - PayPal がホストするオンライン支払いフォームで、電話、ファックス、および郵便による注文を、すべての主要なクレジットカードで受け付けることができます。
- **PayPal エクスプレス チェックアウト** - PayPal アカウント保有者向けの、2 クリックの支払いオプションです。詳細については、[“PayPal エクスプレス チェックアウト 取引処理”\(13 ページ\)](#)を参照してください。

ウェブペイメントプラスの利用を開始

ウェブペイメントプラスのしくみ

- 主要なクレジット/デビットカードに対応 - は Visa、MasterCard、JCB に対応しています。
- モバイルサポート - ウェブペイメントプラスの支払いページは、デスクトップおよびモバイルの両方のブラウザ向けに最適化されています。詳細については、“[モバイル最適化支払いフロー](#)”(37 ページ)を参照してください。

ウェブペイメントプラスのしくみ



上の図で、上部のフローは PayPal アカントを使って支払う場合、下部のフローはカードを使って支払う場合です。

ウェブサイトウェブペイメントプラスを実装する方法

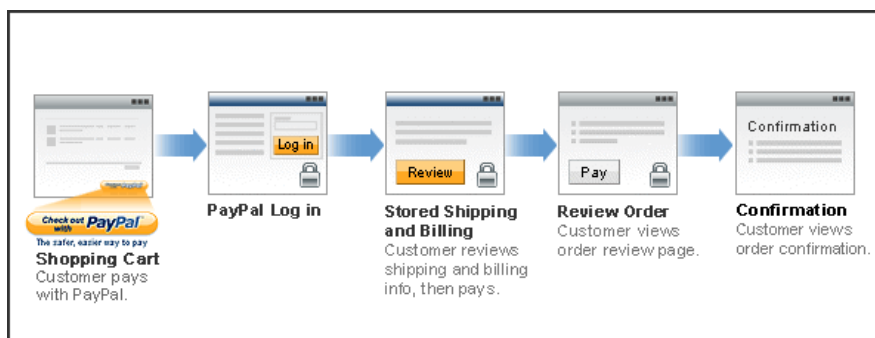
1. HTML または API ソリューションを使って、自社のウェブサイトの支払いフローにボタンを生成します。ボタンには「支払い」、「購入」といったラベルを付けます。買い手がこのボタンをクリックすると、買い手は PayPal がホストする支払いページにリダイレクトされます。
2. 支払いページで、買い手はデビットカードまたはクレジットカードの情報を入力し、[今すぐ支払う] ボタンをクリックします。買い手は PayPal アカントを所有している必要はありませんが、所有している場合にそのアカントを使うオプションもあります。
3. 取引が正常に終了すると、買い手に PayPal の確認ページが表示されるか、買い手はマーチャントが指定する URL にリダイレクトされます。取引に問題が生じた場

合は、エラーメッセージが表示され、買い手はエラーを修正して取引を再試行できます。

マーチャントは支払いページの内容を指定して、その外観が(ロゴを含め)自社のウェブサイトを反映するように構成できます。

PayPal エクスプレス チェックアウト取引処理

PayPal エクスプレス チェックアウトは、PayPal のプレミアチェックアウトソリューションです。エクスプレス チェックアウトを利用すると、買い手はより簡単に支払いをおこなうことができ、売り手は買い手および全体的なチェックアウトフローのコントロールを保持したまま PayPal を受け付けることができます。買い手は、チェックアウトの際に、PayPal に安全に保存されている配送先情報を使用できるため、マーチャントのサイトでそれらの情報を再度入力する必要はありません。[PayPal で支払う] ボタンは、製品ページとショッピングカートページのいずれにも配置することができ、チェックアウト成立を増やすのに大変有効なツールです。



次の手順は、PayPal エクスプレス チェックアウトのしくみを示しています

1. 買い手は購入する商品をウェブサイトで選択した後、[PayPal で支払う] ボタンをクリックします。
2. 買い手は PayPal サイトにリダイレクトされ、PayPal ログインとパスワードを使ってログインします。
3. ログインしたら、注文概要を確認して[チェックアウトの続行]をクリックし、取引を承認します。
4. 買い手はマーチャントのウェブサイトの確認ページに戻り、注文詳細を確認して取引を送信します。

PayPal エクスプレスチェックアウトの詳細については、『[エクスプレスチェックアウト実装ガイド](#)』を参照してください。

ウェブペイメントプラスの実装の開始

ウェブペイメントプラスへの登録が完了したら、次の手順にしたがって自社のウェブサイトに実装します。

1. ウェブサイトをウェブペイメントプラスに接続します。ウェブサイトの支払いフローの中で、買い手がクリックして支払いを開始する **[支払い]** または同様のボタンを配置するポイントを決めます。接続にはHTMLまたはAPIを使用できます。このボタンをクリックすると、取引処理のため買い手のブラウザが PayPal の支払いページにリダイレクトされます。インテグレートの方法に応じて、[15 ページの第2章「HTMLを使用したウェブサイトのインテグレーション」](#) または [49 ページの第5章「APIを使用したウェブサイトの実装」](#) の手順にしたがいます。
2. オプションで、該当する HTML 変数を送るか PayPal アカウント設定を編集することにより、PayPal ホストの支払いページの外観や内容をカスタマイズします。[21 ページの第3章「PayPal 支払いページのカスタマイズ」](#) を参照してください。
3. オプションで、Sandbox 環境でインテグレーションをテストします。この手順については、[57 ページの第6章「Sandbox でのインテグレーションのテスト」](#) で説明します。

2

HTMLを使用したウェブサイトのインテグレーション

この章では、ウェブペイメントプラスを使用する取引処理を開始するためのシンプルな実装方法について説明します。

注： PayPal では、シンプルな実装を導入してウェブペイメントプラスに慣れてから、よりカスタマイズした実装を行うことをおすすめします。

シンプルなインテグレーションの一部として、自社の支払いページにデフォルトの設定を取得します。自社のウェブサイトに合わせてページの外観をカスタマイズするには、以下のいずれかの方法を使用します。

- 22 ページの「PayPal アカウント設定の変更」の説明にしたがって、「個人設定」セクションで設定を変更します。
- 表 2.1、「支払いページの設定に使用する HTML 変数」および表 3.2、「支払いページの外観に使用する HTML 変数」の説明にしたがって、該当する HTML 変数を支払いページに追加します。

重要： HTML 変数により、個人設定ページに保存している設定が上書きされます。

シンプルなウェブペイメントプラス実装

ウェブサイトにウェブペイメントプラスを実装するには、ウェブサイトの支払いフローの中で、買い手がクリックして支払いを開始するボタンを配置するポイントを決めます。ボタンには「支払いの続行」、「支払い」などのラベルを付け、クリックしたときに PayPal への Form POST を実行するよう設定する必要があります。このボタンをクリックすると、買い手のブラウザが PayPal 支払いページにリダイレクトされ、買い手はクレジットカードまたは PayPal アカウントを使って支払うことができます。

Form POST には取引を記述する一連の HTML 変数が含まれます。Form POST で、以下を指定する必要があります。

- subtotal - 取引の金額
- business - セキュアなマーチャント ID(個人設定ページに表示)または PayPal アカウントに関連付けられているメールアドレス
- paymentaction - 取引が、最終販売での支払いなのか、最終販売に対する承認(あとで売り上げる)なのかを示します。

デフォルト通貨は USD です。また、表 2.1、「支払いページの設定に使用する HTML 変数」に一覧表示されている HTML 変数から適切なものを指定して支払いページで収集する情報をカスタマイズしたり、表 3.2、「支払いページの外観に使用する HTML 変数」の HTML 変数を使ってページの外観をカスタマイズしたりできます。支払いが正しく終了すると、買い手に PayPal の確認ページが表示されるか、買い手はマーチャントがその構成で指定する URL にリダイレクトされます。

支払いページからマーチャントのウェブサイトへリダイレクトされる際に、クエリ文字列の復帰 URL に取引 ID が付加されます。この取引 ID は、ステータスを取得して取引の信頼性を検証するのに使用できます。注文に対応する前に取引の信頼性を検証する方法については、[63 ページの第 7 章「注文処理」](#)を参照してください。

実装の例

次に示すのは、シンプルなウェブペイメントプラス実装の例です。

1. ウェブペイメントプラス Form POST の例:

```
<form
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/
webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess"
method="post">
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
<input type="hidden" name="subtotal" value="50">
<input type="hidden" name="business" value="HNZ3QZMCPBAAA">
<input type="hidden" name="paymentaction" value="sale">
<input type="hidden" name="return"
value="https://yourwebsite.com/receipt_page.html">
<input type="submit" name="METHOD" value="Pay">
</form>
```

太字テキストは、該当する変数の値です。値を引用符で囲むことをおすすめします。これらの値の詳細については、[表 2.1、「支払いページの設定に使用する HTML 変数」](#)を参照してください。

2. 自社のウェブサイトの、買い手がチェックアウトを続行するポイントに、HTML テキストを出力します。
3. チェックアウトページを開き、ボタンによって PayPal 支払いページを開くかどうかをテストします。

また、PayPal Sandbox 環境を使ってインテグレーションをテストすることもできます。PayPal Sandbox 環境でのインテグレーションのテストの詳細については、[57 ページの第 6 章「Sandbox でのインテグレーションのテスト」](#)を参照してください。

HTML 変数 (支払いページの設定)

次の表は、ウェブリクエストとともに取引詳細情報を送るために使用できるウェブページメントプラス HTML 変数を一覧にしたものです。支払いページの外観をカスタマイズするのに使用できる HTML 変数の一覧については、[表 3.2、「支払いページの外観に使用する HTML 変数」](#)を参照してください。

注： PayPal に渡す値には、`(){}<>\";` は使用できません。

注： 一部のマーチャントは、取引ごとに請求情報を渡す必要があります。最初に実装をテストして (特に iFrame の使用をお考えの場合)、請求情報フィールドを必須にするかどうかを判断することをおすすめします。

表 2.1 支払いページの設定に使用する HTML 変数

変数	説明	必須
address1	配送先住所の番地。(2 フィールドの 1)。	いいえ
address2	配送先住所の番地。(2 フィールドの 2)。	いいえ
address_override	伝達した住所が支払人に表示されますが、編集はできません。住所にエラーがあると、この変数は上書きされます。可能な値は true/false です。デフォルトは false です。	いいえ
billing_address1	請求先住所の番地。(2 フィールドの 1)。	条件付き
billing_address2	請求先住所の番地。(2 フィールドの 2)。	いいえ
billing_city	請求先住所の市区町村名。	条件付き
billing_country	請求先住所の国コード。	条件付き
billing_first_name	商品の請求先個人の名。	条件付き
billing_last_name	商品の請求先個人の姓。	条件付き
billing_state	請求先住所の国名。	条件付き
billing_zip	請求先住所の郵便番号。	条件付き
bn	ボタンのコードを作成したソースを示します。 形式 - <会社>_<サービス>_<製品>_<国>	いいえ
business	PayPal アカウントのメールアドレス、または PayPal アカウントに関連付けられている PayPal ID (セキュアなマーチャント ID)。PayPal.com の「個人設定」ページの最上部に表示される PayPal ID を使用することをおすすめします。	はい
buyer_email	買い手のメールアドレス。	いいえ

HTMLを使用したウェブサイトのインテグレーション

HTML 変数 (支払いページの設定)

表 2.1 支払いページの設定に使用する HTML 変数 (続く)

変数	説明	必須
cancel_return	買い手が[ショッピングサイトに戻る]リンクをクリックすると、ブラウザがこの URL にリダイレクトされます。http:// または https:// を含む完全な URL を入力してください。	いいえ
cbt	PayPal の確認ページ上の[ショッピングサイトに戻る]リンク用のテキストを設定します。ビジネスアカウントの場合、この復帰ボタンには「マーチャント」の代わりにデフォルトで事業者名が表示されます。	いいえ
city	配送先住所の市区町村。	いいえ
country	配送先住所の国名。	いいえ
currency_code	支払いの通貨。デフォルトは USD です。	いいえ
custom	支払人には提示されないパススルー変数。	いいえ
first_name	商品の配送先個人の名。	いいえ
handling	取り扱い手数料。この金額は合計金額の subtotal に加算されます。	いいえ
invoice	マーチャントの注文/請求システムの注文番号。	いいえ
last_name	商品の配送先個人の姓。	いいえ
lc	ログインページまたはサインアップページの表示言語。可能な値は次のとおりです: JP、US	いいえ
night_phone_a	米国の電話番号のエリアコード、または米国外の電話番号の国コード。これにより買い手の自宅の電話番号が事前入力されます。	いいえ
night_phone_b	米国の電話番号の3桁の局番、または米国外の電話番号の国コードを除く全番号。これにより、買い手の自宅の電話番号が事前入力されます。 注: この変数は米国以外の番号に使用します。	いいえ
night_phone_c	米国の電話番号の4桁の番号。これにより、買い手の自宅の電話番号が事前入力されます。	いいえ
notify_url	即時支払い通知の形式で PayPal が取引に関する情報を掲示する URL。http:// または https:// を含む完全な URL を入力してください。	いいえ
paymentaction	取引が、最終販売での支払いなのか、最終販売に対する与信(あとで売上げる)なのかを示します。 <ul style="list-style-type: none">● 使用可能な値: - authorization または sale● 初期設定値 - sale	あり

表 2.1 支払いページの設定に使用する HTML 変数 (続く)

変数	説明	必須
return	支払い完了後、買い手のブラウザがリダイレクトされる先の URL。http:// または https:// を含む完全な URL を入力してください。	いいえ
shipping	配送料。この金額は合計金額の subtotal に加算されます。	いいえ
state	配送先住所の都道府県。	いいえ
subtotal	取引の金額。配送、取り扱い手数料、および税金が指定されない場合、この金額が合計金額になります。	はい
tax	税金。この金額は合計金額の subtotal に加算されます。	いいえ
zip	配送先住所の郵便番号。	いいえ



HTMLを使用したウェブサイトのインテグレーション

HTML 変数 (支払いページの設定)

3

PayPal 支払いページのカスタマイズ

PayPal 支払いページの外観を以下の2つの方法でカスタマイズできます。

- [PayPal アカウント設定の変更](#)
- [支払いページの外観に使用する HTML 変数](#)を使用する。

注： HTML 変数により、個人設定ページに保存しているアカウント設定が上書きされます。

この章には[モバイル最適化支払いフロー](#)の情報も含まれます。

注： 支払いページは、HTML の実装完了後、お客さまに表示されるようになります。

PayPal アカウント 設定の変更

PayPal 支払いページの設定と外観をカスタマイズできます。支払いページを変更するには、PayPal.com でアカウントにログインします。「個人設定」ページの[ウェブ ペイメントの設定]で、以下の操作を行います。

- **設定**: 支払いページの設定を構成する。
- **カスタマイズ**: 支払いページのレイアウトと外観を指定する。

The screenshot displays the PayPal account settings interface. At the top, there's a navigation bar with tabs: マイアカウント, 支払い, 請求, 決済サービス, and オークションツール. Below this is a sub-navigation bar with links: 概要, 入金, 引き出し, 取引履歴, 問題解決センター, レポートツール, and 個人設定. The main heading is 個人設定, with a link to このページのヘルプ. Below the heading, it shows the business name: Auto Metal Recycling(avekhovskaya-JP-VTMaster1@paypal.com) and the secure merchant ID: VE7JCUCRFTD6. A message states: アカウント設定を表示および編集して、製品およびサービスのステータスを確認します. There are two tables: one for services (バーチャルターミナル) and one for status (ライブ). The main content area is divided into several sections: アカウント情報 (with links like メール, 住所, 電話および携帯での支払い, パスワード, 通知情報の共有, 言語設定, タイムゾーン, ユーザーの管理, API信用証明書の申請, 事業情報, アカウントの解約, 識別設定), セキュリティおよびリスク設定 (with links like 支払い受け取り設定), レポートの設定 (with links like レポート購読の管理, セキュアFTPサーバー設定), 販売の設定 (with links like オークション, カスタマーサービスのメッセージ, 請求書テンプレート, 即時支払い通知の設定, 言語エンコード), 請求 (with links like PayPalの請求を表示, 月間請求の管理), 実装テスト (with link like Sandboxテスト環境), 決済情報 (with links like 銀行口座, クレジットカード, 外貨残高の管理, 換金コード, 月別アカウント明細, 事前承認された支払い, 定期支払いスケジュールボード), and ウェブペイメントの設定 (with links like ウェブペイメント プラス, 設定, and カスタマイズ). A red arrow points to the 'カスタマイズ' link under the 'ウェブペイメントの設定' section.

設定

図 3.1 設定 - 設定概要ページ



「設定」概要ページから以下の各タブを選択して、PayPal 支払いページの設定を構成できます。

- **顧客情報**: 顧客の請求情報や配送情報を支払いページに表示するかどうかや、どの項目を入力必須/編集可能にするかを指定します。
- **支払い確認ページ**: 支払い確認ページの設定を選択します。取引が問題なく完了すると、このページが顧客に表示されます。
- **領収書メール**: 領収書メールを顧客に送信するよう指定し、この領収書メールをカスタマイズします。
- **URLとデータ転送**: お客様のウェブサイトの重要なURLを指定します。PayPalは、PayPal 支払いページからお客様が指定したURLに顧客をリダイレクトします。
- **一般設定**: 支払いページのボタンラベルをカスタマイズします。

「設定」概要ページには [PayPal デベロッパーポータル](#) へのリンクや、支払いページの外観を変更できる「[カスタマイズ](#)」ページへのリンクも含まれています。

顧客情報

[顧客情報] 設定タブで、PayPal 支払いページに [請求情報] および [配送情報] の各フィールドを表示するかどうかを選択できます。請求情報や配送情報の横のチェックボックスを選択すると、適用可能な項目のリストが表示されます。一覧表示された項目はすべて、支払いページに表示されます。

図 3.2 設定 - 顧客情報ページ

顧客情報の収集

[このページのヘルプ](#)

概要

顧客情報

「支払いの確認」ページ

領収書のメール送付

URLおよびデータ転送

一般設定

PayPalでは、支払いを処理するために、顧客からクレジットカード番号と有効期限の情報を収集します。支払いページで追加で収集および表示する情報を選択できます。また、この情報をお客さまのウェブサイトから収集し、ウェブでの支払い要求でPayPalに送ることもできます。

顧客から収集する情報を選択します。

☒ 請求先情報

氏名

次の項目を編集可能にする:

☐ 会社名 ☐ 名 ☐ 姓

次の項目を必須にする:

☐ 会社名 ☒ 名 ☒ 姓

住所

次の項目を編集可能にする:

☐ 住所1 ☐ 住所2 ☐ 市区町村 ☐ 都道府県 ☐ 郵便番号 ☐ 国

次の項目を必須にする:

☒ 住所1 ☐ 住所2 ☒ 市区町村 ☒ 都道府県 ☒ 郵便番号 ☒ 国

連絡先情報

次の項目を編集可能にする:

☐ 電話番号 ☐ メールアドレス

次の項目を必須にする:

☐ 電話番号 ☐ メールアドレス

☐ 配送情報

変更を保存

顧客情報フィールドのこのリストからは、支払いページのどの項目を編集可/入力必須にするかを選択できます。これらのフィールドを入力必須にするセクションの各入力必須フィールドの横にあるボックス、およびこれらのフィールドを編集可能にするセクションの編集可能フィールドの横にあるボックスにチェックを入れます。

支払いページに表示するオプションはできるだけ少なくすることをおすすめします。また、ご自分のウェブサイトで収集した情報を支払いページでも収集すると、買い手にとっては手間がかかります。たとえば、配送料を計算するために配送先住所をご自

分のウェブサイトで収集済みの場合があります。この場合、支払いページでこの情報を再度収集する必要はありません。

PayPal 支払いページで買い手の配送先住所を収集せず、すでに収集した配送情報を PayPal に渡すことができます。PayPal では、受け取った情報を支払いページにあらかじめ入力し、編集可能な状態で表示します。PayPal 支払いページへの値の提供に関する詳細は、“[HTML 変数\(支払いページの設定\)](#)”(17 ページ)をご覧ください。

[顧客情報] ページタブで、支払いページに以下の顧客の請求情報や配送情報のフィールドを表示するかどうかを選択できます。どの項目を入力必須・編集可能にするかも指定できます。

注： 一部のマーチャントは、取引ごとに顧客の請求情報の提供を求められます。最初に実装をテストして(特に iFrame の実装の使用をお考えの場合)、請求情報フィールドを必須にするかどうかを判断することをおすすめします。

請求情報フィールド	配送情報フィールド
名前 <ul style="list-style-type: none"> 会社名 名 姓 住所 <ul style="list-style-type: none"> 住所 1 住所 2 市区町村 都道府県 郵便番号 国 連絡先情報 <ul style="list-style-type: none"> 電話番号 メールアドレス 	名前 <ul style="list-style-type: none"> 会社名 名 姓 住所 <ul style="list-style-type: none"> 住所 1 住所 2 市区町村 都道府県 郵便番号 国 連絡先情報 <ul style="list-style-type: none"> 電話番号 メールアドレス

HTML 変数を PayPal 支払いページに渡すことにより、取引時に [顧客情報] タブの設定を無効にすることもできます。詳細については、“[支払いページの外観に使用する HTML 変数](#)”(39 ページ)をご覧ください。

支払い確認ページ

[支払い確認ページ] タブから、支払い完了後に買い手に表示するページを指定できます。ご自分のウェブサイト hosts された PayPal 確認ページまたは支払い確認ページのどちらを表示するかを選択できます。

図 3.3 設定 - 支払い確認ページ

「支払いの確認」ページの設定

[このページのヘルプ](#)

概要	顧客の支払い完了後に、PayPal の確認ページを表示するか、お客さまの確認ページに顧客をリダイレクトできます。
顧客情報	支払い確認のメッセージをどこに表示しますか? <input type="radio"/> 自社ウェブサイトの確認ページに表示します。 <input checked="" type="radio"/> PayPal の確認ページに表示します。 サンプルを見る
「支払いの確認」ページ	
領収書のメール送付	
URL およびデータ転送	
一般設定	

ヘッダーテキスト (オプション) (最大 720 文字)

フッターテキスト (オプション) (最大 720 文字)

カスタマーサービスの電話番号

7169169833

カスタマーサービスのメールアドレス

averkhovskaya-JP-VTMaste

カスタマーサービスの情報を編集するには、[\[個人設定\]](#)を開いてください。

復帰 URL

http://

[戻る] ボタンのテキスト

ショッピングを続ける

取引が完了すると、お客さまにメールが送信されます。取引の詳細は、取引履歴でも確認できます。

ヒント: HTTP POST または GET を使用してデータをお客さまのウェブサーバーに送信するには、[\[URL およびデータ転送\]](#)をクリックします。

変更を保存

- 自分のサイトの確認ページ

このオプションを選択すると、PayPal は、お客さまのウェブサイト hosts された支払い確認ページに買い手をリダイレクトします。復帰 URL を入力してください。復帰 URL は、顧客が PayPal ページからお客さまのサイトに戻ったとき、最初

に表示されるページです。自分専用の支払い確認ページをホストする場合は、[復帰 URL]に、支払い確認ページへのパスを入力します。

お客さまのウェブサイト上でホストされた支払い確認ページに買い手を移動する場合は、取引結果についてのメッセージをこのページに表示する必要があります。注文の詳細は、必ず、お客さまにお渡しする取引IDを使って表示してください。

- **PayPal 確認ページ**

このオプションを選択すると、買い手に対し PayPal がホストする確認ページを表示するよう設定されます。次の情報について、PayPal がホストする確認ページをカスタマイズできます。

- (オプション)ヘッダーテキスト
- (オプション)フッターテキスト
- カスタマーサービスの電話番号。

カスタマーサービスの連絡先情報を更新するには、「個人設定」ページに戻ります。

- カスタマーサービスのメールアドレス。

カスタマーサービスの連絡先情報を更新するには、「個人設定」ページに戻ります。

- 復帰 URL

復帰 URL は、顧客が PayPal ページからお客さまのサイトに戻ったとき、最初に表示されるページです。[復帰 URL]には、PayPal 支払い確認ページの後に買い手に表示したいご自分のサイトのページへのパスを入力します、PayPal の確認ページのリンクをクリックすると、買い手はお客さまのサイトに戻ります。リンクを設定するテキストはカスタマイズできます。

- 復帰ボタン・リンクのテキスト

ここで、ユーザーをお客さまのサイトに戻す、PayPal 確認ページのリンクのテキストを指定できます。

HTTP POST または GET を使って PayPal からお客さまのウェブサーバーに情報を送信する方法を変更するには、[URL とデータ転送] 設定タブに移動します。

領収書メール

[領収書メール] 設定タブから、取引完了後に PayPal から買い手に領収書メールを送るかどうかを指定できます。この機能は初期設定では無効になっています。有効にするには、[PayPal からの領収書のメール送付を許可します。]の横のチェックボックスを選択します。

領収書メールのページで以下の情報をカスタマイズできます。

- 送信者のメールアドレス
- 返信先メールアドレス(オプション)
- 事業者名または会社のロゴを表示しますか?

次のオプションから選択できます。

- 事業者名をテキストで表示

- 会社のロゴを表示
- 表示しない
- ヘッダーテキスト (オプション)
- フッターテキスト (オプション)
- カスタマーサービスの電話番号
- カスタマーサービスのメールアドレス

カスタマーサービスの連絡先情報を更新するには、「個人設定」ページに戻ります。

図 3.4 設定 - 領収書メール

メールの領収書のカスタマイズ

[このページのヘルプ](#)

<div>概要</div> <div>顧客情報</div> <div>「支払いの確認」ページ</div> <div>領収書のメール送付</div> <div>URLおよびデータ転送</div> <div>一般設定</div>	<p>支払いがあった顧客に対し、PayPalはメールで領収書を送付します。領収書のカスタマイズして、[差出人]と[返信先]に表示するメールアドレスを選択したり、ヘッダーおよびフッターのテキストを入力したりできます。 サンプルを見る</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> PayPalからの領収書のメール送付を許可します。</p> <p>差出人メールアドレス <input type="text"/></p> <p>返信先メールアドレス (オプション) <input type="text"/></p> <p>事業者名またはロゴを表示しますか?</p> <p> <input type="radio"/> 事業者名をテキストで表示 <input type="radio"/> 企業ロゴを表示 <input checked="" type="radio"/> 表示しない </p> <p>ヘッダーのテキスト (オプション) <input type="text"/></p> <p>フッターのテキスト (オプション) <input type="text"/></p> <p>カスタマーサービスの電話番号 <input type="text" value="7169169833"/></p> <p>カスタマーサービスのメールアドレス <input type="text" value="averkhovskaya-JP-VTMaste"/></p> <p>カスタマーサービスの情報を編集するには、「個人設定」を開いてください。</p> <p>変更を保存</p>
--	---

URL とデータ転送

[URL とデータ転送] の設定により、PayPal とお客様のウェブサイトでのデータの転送方法 (GET または POST を使用) を管理できます。キャンセル時またはエラー時の URL の値もここで設定できます。復帰 URL を変更するには、[支払い確認ページ](#) に移動してください。

図 3.5 設定 -URL とデータ転送

このページのヘルプ

URLおよびデータ転送

概要

お客様のサイトに顧客をリダイレクトするためのURLを入力してください。これらのURLにより、お客様のウェブサーバーにデータもポストされます。

顧客情報

「支払いの確認」ページ

領収書のメール送付

URLおよびデータ転送

データ転送方法

お客様のウェブサーバーに支払いデータを送る方法を選択してください(復帰、キャンセル、およびエラーURL用)。復帰URLを指定するには、[「支払いの確認」ページ](#)をクリックします。

☐ GET

☒ POST

キャンセルURL

チェックアウト ページでこのリンクをクリックすると、顧客は取引をキャンセルして、お客様のウェブサイトに戻ることができます。

キャンセルURLのテキスト

支払いをキャンセル

エラーURL

エラーが発生した場合、PayPalは顧客をお客様のウェブサイト上のこのページにリダイレクトします。また、PayPalはお客様に取引結果も送信します。

変更を保存

[URL とデータ転送] タブから、以下の設定を行うことができます。

データの転送方法

ご自分のウェブサーバーに支払いデータを送り返す際に PayPal が使用する HTTP メソッドを選択します。このデータ転送方法は、復帰時、キャンセル時、エラー時の URL に適用されます。以下のオプションがあります。

- GET
- POST

キャンセル時の URL

顧客が支払いをキャンセルした場合、顧客はこのリンクから、お客さまが指定したウェブページに移動します。

- キャンセル時の URL

買い手が支払いをキャンセルした場合に戻るウェブページの URL を入力します。

キャンセル時の URL は、取引時に動的に設定することもできます。その場合は、PayPal に HTML 変数を渡します。アカウント設定で指定されたキャンセル時の URL は、この HTML 変数により上書きされます。詳細は [“HTML 変数\(支払いページの設定\)”\(17 ページ\)](#) を参照してください。

- キャンセル時の URL のテキスト

PayPal 支払いページに表示される支払いキャンセルのリンクのテキストはここでカスタマイズできます。

エラー時の URL

これは、支払い取引中にエラーが発生した場合に PayPal が買い手をリダイレクトするページの URL です。

一般設定

「一般設定」ページでは、PayPal 支払いページをさらにカスタマイズできます。

支払いページのボタンのテキスト

[今すぐ支払う] ボタンのテキストをカスタマイズできます。

図 3.6 設定 - 一般設定

カスタマイズ

[カスタマイズ] ページでは、PayPal 支払いページのレイアウトおよび外観をカスタマイズできます。ここで、使用可能なページレイアウトからいずれかを選択できます。選択するレイアウトに応じて、支払いページのヘッダー、背景色、サブヘッダーのテキスト、支払いボタンの色、ボタンテキストの色、注文概要セクションをカスタマイズできます。PayPal 支払いページは、デスクトップおよびモバイルの両方のブラウザ向けに最適化されています。モバイルブラウザでの支払いページの動作の詳細は、“[モバイル最適化支払いフロー](#)”(37 ページ) を参照してください。

ページ上部に、PayPal が提供する 4 つのレイアウトテンプレートが表示されます。テンプレート A が初期設定のテンプレートです。以下のテンプレートからいずれかを選択できます。iFrame の実装を希望する場合は、*MiniLayout* テンプレートを選択してください。

ご希望のレイアウトテンプレートを選択すると、そのテンプレートの各セクションをカスタマイズできます。セクションに変更を加えるには、変更するセクションで左クリックするか、そのセクションに該当する[クリックして編集]ボタンをクリックします。色を変更するカラーセレクタやテキスト入力フィールドのような、そのセクションに適用可能な設定を表示したポップアップウィンドウが開きます。

レイアウトテンプレートのカスタマイズが完了したら、以下のボタンのいずれかをクリックしてください。

- **プレビュー** - テンプレートにおこなった変更を、保存して公開する前にプレビューします。
- **保存して公開** - すべての変更を保存して、更新されたテンプレートを公開します。買い手には更新された支払いページが表示されます。
- **キャンセル** - このセッションでの全変更を破棄します。
- **以前のバージョン** - 前回テンプレートを保存した後の変更すべてを破棄します。買い手には前回保存されたテンプレートが表示されます。

注： すべての変更 (テンプレートの変更を含む) を同じセッション内でおこなわないと、変更がすべて失われるため、再び変更することになります。セッションがタイムアウトすると、テンプレートのデザインは、前回保存して公開されたバージョンのままになります。

テンプレートの選択

以下の4つのデザインテンプレートから選択します。

- [レイアウト A](#)
- [レイアウト B](#)
- [レイアウト C](#)
- [MiniLayout](#)

レイアウト A: 初期設定ではレイアウト A が選択されています。レイアウト A には、ページ上部のヘッダー、左側の支払方法セクション、右側の注文概要セクションがあります。このレイアウトではヘッダーのみカスタマイズできます。ヘッダーの高さの指定、会社名のテキスト表示、会社のロゴのアップロードなどができます。ヘッダーの位置調整(水平方向)も選択できます。

注： レイアウトテンプレート A、B、C を使用すると、対応しているモバイルブラウザに支払いページが表示される場合、レイアウトテンプレートの代わりにモバイル最適化支払いフローが自動表示されます。モバイル最適化支払いページは、カスタマイズできず、レイアウト A、B、C で同じように表示されます。

図 3.7 カスタマイズ-レイアウト A

レイアウトA レイアウトB レイアウトC Mobile Layout

支払い方法を選択

▶ PayPal アカウントで支払う

スピーディーで安全な支払い方法です。

PayPal で支払う

▶ カードで支払う

クレジットカード番号

サンプルページ

パブリッシュしたページに設定が反映されます。[プレビュー]をクリックすると、真実手に対してページがどのように表示されるかを確認できます。

CSC

今すぐ支払う

注文概要

注文概要のサンプル

合計 107.00 JPY

安全な決済 PayPal

Auto Metal Recycling に関する
Copyright © 1999-2012 PayPal. All rights reserved.
PayPal のストアードバリュー証券
の保有者である PayPal Pte. Ltd. は、シンガポール通貨金融庁 (Monetary Authority of Singapore) の承認を必要とします。
ご利用の際は、要約責任をよくお読みください。

変更の取り消し プレビュー 保存してパブリッシュ キャンセル

PayPal 支払いページのカスタマイズ

PayPal アカウント設定の変更


レイアウト B: レイアウト B は、カスタマイズオプションが最も多くあります。レイアウト A と同様に、ページ上部にヘッダー、左側に支払方法セクション、右側に注文概要セクションが表示されます。さらにレイアウト B では、ヘッダーやページの背景色をカスタマイズしたり、ページ背景の画像を選択したりできます。左側の支払方法セクションでは、サブヘッダーのテキスト、セクションの境界、支払いボタン、支払いボタンのテキストの色をそれぞれ選択できます。右側の注文概要では、背景色をカスタマイズしたり背景画像を使用したりできます。

注： レイアウトテンプレート A、B、C を使用すると、対応しているモバイルブラウザに支払いページが表示される場合、レイアウトテンプレートの代わりにモバイル最適化支払いフローが自動表示されます。モバイル最適化支払いページは、カスタマイズできず、レイアウト A、B、C で同じように表示されます。

図 3.8 カスタマイズ-レイアウト B

レイアウトと色を選択します。

レイアウトA レイアウトB レイアウトC MiniLayout



Auto Metal Recycling

支払い方法を選択

PayPal アカウントで支払う

スピーディで安全な支払い方法です。

PayPal **PayPal** で支払う

カードで支払う

クレジットカード番号

VISA **MasterCard**

サンプルページ

パブリッシュしたページに設定が反映されます。[プレビュー]をクリックすると、買い物に対してページがどのように表示されるかを確認できます。

CSC [説明](#)

今すぐ支払う

安全な決済 **PayPal**

注文概要

注文概要のサンプル

ここに注文概要が表示されます。

小計 ¥10.00

税金 ¥0.00

配送料 ¥0.00

合計 ¥307.00 JPY

レイアウト C: レイアウト C では、注文概要セクションはページ上部のヘッダーのすぐ下に表示され、その下には支払方法セクションが表示されます。レイアウト B と同様に、レイアウト C でも、ヘッダー、ページの背景、および支払方法セクションの色をカスタマイズできます。ただし、注文概要のセクションはカスタマイズできません。

注： レイアウトテンプレート A、B、C を使用すると、対応しているモバイルブラウザに支払いページが表示される場合、レイアウトテンプレートの代わりにモバイル最適化支払いフローが自動表示されます。モバイル最適化支払いページは、カスタマイズできず、レイアウト A、B、C で同じように表示されます。

図 3.9 カスタマイズ-レイアウト C

The screenshot displays the PayPal checkout interface for a store named "Auto Metal Recycling". At the top, there are four layout options: レイアウトA, レイアウトB, レイアウトC (which is selected and highlighted with an orange border), and MiniLayout. Below the layout selector, the page content is divided into several sections:

- Header:** A blue bar with the text "Auto Metal Recycling".
- Order Summary:** A table on the left showing:

注文概要	
小計	¥300.00
税金	¥2.00
配送手数料	¥5.00
合計	¥307.00 JPY

 To the right of this table is a section titled "注文概要のサンプル" (Sample of Order Summary) with the text "ここに注文概要が表示されます。" (The order summary is displayed here).
- Payment Method Selection:** A section titled "支払い方法を選択" (Select payment method) with two main options:
 - PayPal アカウントで支払う** (Pay with PayPal account): This option is expanded, showing the PayPal logo, the text "スピーディで安全な支払い方法です。" (It's a fast and secure payment method.), and a "PayPal でお支払い" (Pay with PayPal) button.
 - カードで支払う** (Pay with card): This option is collapsed.
- Card Payment Details:** Below the card option, there is a form for "クレジットカード番号" (Credit card number) and a "CSC" (Card Security Code) field. There is also a "説明" (Description) link and a "今すぐ支払う" (Pay now) button.

PayPal 支払いページのカスタマイズ

PayPal アカウント設定の変更

MiniLayout: ほかのレイアウトと異なり、MiniLayout には支払方法のセクションのみ表示されます。ヘッダーや注文概要のセクションは表示されません。MiniLayout は、独立したポップアップウィンドウに表示することも、iFrame のお客さまのサイトの一部として表示することもできます。iFrame の実装の詳細は、“[iFrame の実装](#)”(44 ページ)をご覧ください。MiniLayout のサイズは、490 x 565 ピクセル固定で、エラーメッセージ用のスペースがあります。


MiniLayout では、サブヘッダーのテキストの色、境界の色、支払いボタンの色、支払いボタンのテキストの色をカスタマイズできます。

注： MiniLayout を使用すると、モバイルブラウザから支払いページを開いてもモバイル最適化フローは表示されません。これは、モバイル向けに最適化されていない可能性のあるマーチャントのウェブページにモバイル最適化組み込みテンプレートが自動表示された場合、想定外の現象が発生する可能性があるためです。モバイル最適化フローを表示するには、取引時に HTML 変数 `template` の `mobile` または `mobile-iframe` を渡します。

図 3.10 カスタマイズ -MiniLayout


レイアウトと色を選択します。

レイアウトA レイアウトB レイアウトC **MiniLayout**



ほかのレイアウトと異なり、MiniLayout では、クレジットカードとデビットカードの項目のみを表示します。MiniLayout は、お客さまのサイトでフレーム表示するか、単体のポップアップで表示できます。サイズは 490 x 565 ピクセルで固定であり、エラーメッセージを表示するための余白が用意されています。MiniLayout を選択すると、レイアウト A、B、および C は適用されません。

PayPal アカウントで支払う





スピーディで安全な支払い方法です。

PayPal でお支払い

カードで支払う

クレジットカード番号

サンプルページ

パブリッシュしたページに設定が反映されます。プレビューをクリックすると、買い手に対してページがどのように表示されるかを確認できます。

CSC [説明](#)

今すぐ支払う

変更の取り消し **プレビュー** 保存してパブリッシュ キャンセル

レイアウトテンプレートのカスタマイズオプション

テンプレートをカスタマイズするには、以下の点を検討します。

- **ヘッダー** (レイアウト A、B、C に適用) - デフォルトでは、個人設定の事業者名がヘッダーに表示されます。以下の点を変更できます。
 - ヘッダーの高さと色
 - フォントタイプ、サイズ、色
 - 事業者名と事業ロゴ画像の表示の切り替え
 - 事業者名またはロゴの位置
 - レイアウト B および C では、ヘッダーの背景色も変更できます。
- **ページ背景** (レイアウト B、C に適用) - 以下の点を変更できます。
 - 背景色
 - 背景画像 URL
- **支払方法セクション** (レイアウト B、C、MiniLayout に適用) - 以下の点を変更できます。
 - セクションの境界色
 - サブヘッダーのテキストの色
 - 支払いボタンの色とボタンテキストの色
- **注文の概要セクション** (レイアウト B にのみ適用) - 以下の点を変更できます。
 - セクションの背景色
 - 背景画像 URL

モバイル最適化支払いフロー

PayPal 支払いページは、モバイルブラウザ向けに最適化されています。テンプレート A、B、C を使用すると、対応しているモバイルブラウザから支払いページを買い手が開いたとき、レイアウトテンプレートの代わりにモバイル最適化支払いフローが自動表示されます。

注： モバイル最適化支払いページは、カスタマイズできず、レイアウト A、B、C で同じように表示されます。

MiniLayout または iFrame インテグレーションとしても知られているテンプレート D を使用すると、モバイルブラウザから支払いページを開いてもモバイル最適化フローは表示されません。これは、モバイル向けに最適化されていない可能性のあるマーチャントのウェブページにモバイル最適化組み込みテンプレートが自動表示された場合、想定外の現象が発生する可能性があるためです。モバイル最適化フローを表示するには、取引時に HTML 変数 `template` の `mobile` または `mobile-iframe` を渡します。詳

細は、“[支払いページの外観に使用する HTML 変数](#)”(39 ページ) の HTML 変数の template を参照してください。

表 3.1 HTML 変数の template

template 変数の値	ウェブブラウザでの動作	モバイル端末からの動作
templateA	ウェブレイアウトを表示します。	モバイル最適化フローを表示します。
templateB	ウェブレイアウトを表示します。	モバイル最適化フローを表示します。
templateC	ウェブレイアウトを表示します。	モバイル最適化フローを表示します。
templateD	iFrame ウェブレイアウトを表示します。	iFrame ウェブレイアウトを表示します。
mobile	初期設定のウェブレイアウトを表示します。	モバイル最適化フローを表示します。
mobile-iframe	初期設定のウェブレイアウトを表示します。	モバイル iFrame レイアウトを表示します。

図 3.11、「PayPal 支払いのモバイル支払いフロー」および図 3.12、「クレジットカード支払いのモバイル支払いフロー」は、モバイル最適化支払いフローの例です。

図 3.11 PayPal 支払いのモバイル支払いフロー

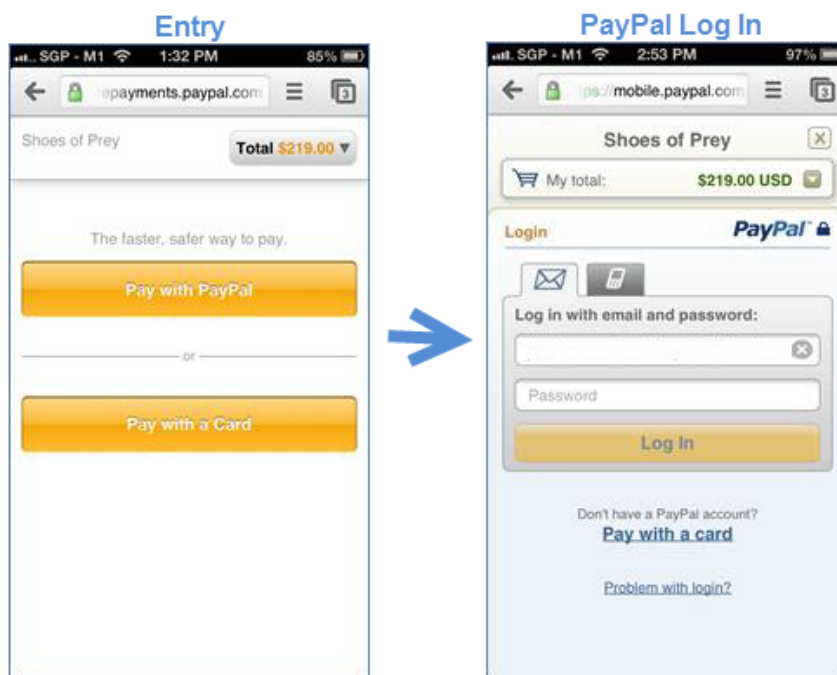
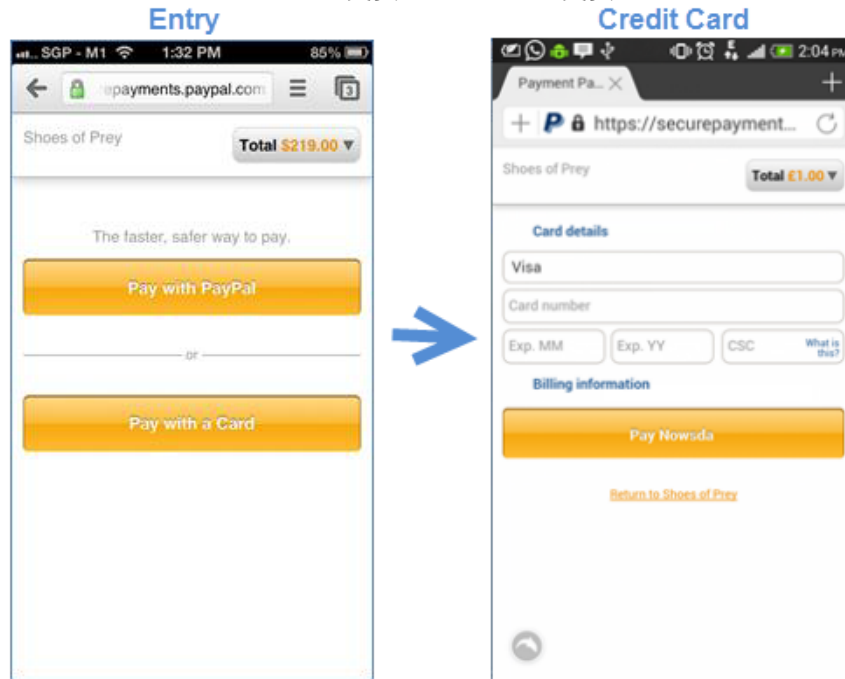


図 3.12 クレジットカード支払いのモバイル支払いフロー



支払いページの外観に使用する HTML 変数

次の表は、支払いページの外観をカスタマイズするのに使用できる HTML 変数を一覧にしたものです。取引時に渡す HTML 変数により、PayPal アカウントの個人設定の支払いページの設定が上書きされます。その他の HTML 変数については、[HTML 変数\(支払いページの設定\)](#)を参照してください。

注： PayPal に渡す値には、`(){}<>\\`は使用できません。

表 3.2 支払いページの外観に使用する HTML 変数

変数	説明
bodyBgColor	支払いページの周囲背景色。
bodyBgImg	支払いページの周囲背景の画像。使用できるファイル拡張子の形式は、.gif、.jpg、.jpeg、または.png です。
footerTextColor	フッターテキストの色。
headerBgColor	ヘッダーの背景の色。
headerHeight	ヘッダーバナーの高さ。50～140 ピクセルで設定できます。幅を変更することはできません。常に 940 ピクセルです。
logoFont	ロゴテキストのフォントタイプ。

表 3.2 支払いページの外観に使用する HTML 変数

変数	説明
logoFontColor	ロゴテキストの色。
logoFontSize	ロゴテキストのフォントサイズ。
logoImage	ロゴに表示される画像。使用できるファイル拡張子の形式は、.gif、.jpg、.jpeg、または .png です。画像の幅が940ピクセルを超えることはできません。
logoImagePosition	ロゴ内の画像の位置。
logoText	個人設定ページに表示される事業者名。このフィールドは編集可能で、logoImageを指定しない場合、指定したテキストがヘッダーに表示されます。
orderSummaryBgColor	支払いページの右側の注文概要列の色。注文概要ボックスの色を変更することはできません。
orderSummaryBgImage	注文概要列に配置できる背景画像。使用できるファイル拡張子の形式は、.gif、.jpg、.jpeg、または .png です。
pageButtonBgColor	[今すぐ支払う] ボタンの背景色。
pageButtonText	[今すぐ支払う] ボタンの色。ボタンのテキストを変更することはできません。
pageTitleTextColor	ページのタイトルに使用されるのテキストの色。(「支払い方法を選択する」というテキスト。)
sectionBorder	「PayPal アカウントで支払い」または「カードで支払い」と表示されるセクションの背景。
showCustomerName	顧客名(氏名)を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> デフォルト値: true 可能な値: true または false。true = 表示、false = 非表示。
showBillingAddress	請求先住所情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> デフォルト値: true 可能な値: true または false。true = 表示、false = 非表示。
showBillingPhone	請求書送付先の電話番号を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> デフォルト値: true 可能な値: true または false。true = 表示、false = 非表示。
showBillingEmail	請求のためのメールアドレスを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> デフォルト値: false 可能な値: true または false。true = 表示、false = 非表示。
showHostedThankyouPage	PayPal の確認ページを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> デフォルト値: true 可能な値: true または false。true = 表示、false = 非表示。

表 3.2 支払いページの外観に使用する HTML 変数

変数	説明
showShippingAddress	<p>配送先住所を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デフォルト値: false ● 可能な値: true または false。true = 表示、false = 非表示。
subheaderText	<p>「PayPal アカウントで支払い」または「カードで支払い」というテキストの色。</p>
template	<p>支払いページに使用するレイアウトテンプレート。アカウントの個人設定のレイアウトテンプレートは、取引時に以下の値のいずれかを渡すことで上書きできます。</p> <p>注： レイアウトテンプレート A、B、C を使用すると、対応しているモバイルブラウザから支払いページを買い手が開いた場合、レイアウトテンプレートの代わりにモバイル最適化支払いフローが自動表示されます。モバイル最適化支払いページは、カスタマイズできず、レイアウト A、B、C で同じように表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● templateA - テンプレート A をレイアウトするための支払いページテンプレートを設定します。 ● templateB - テンプレート B をレイアウトするための支払いページテンプレートを設定します。 ● templateC - テンプレート C をレイアウトするための支払いページテンプレートを設定します。 ● templateD - MiniLayout (iFrame インテグレーション) テンプレートの支払いページテンプレートを設定します。モバイルブラウザに支払いページが表示される場合は、モバイル最適化フローは表示されません。これは、モバイル向けに最適化されていない可能性のあるマーチャントのウェブページにモバイル最適化組み込みテンプレートが自動表示された場合、想定外の現象が発生する可能性があるためです。モバイル最適化支払いフローを表示するには、取引時に HTML 変数 template の mobile または mobile-iframe を渡します。 <p>注： テンプレート A、B、C を使用している場合、モバイル最適化支払いページを表示するための操作は必要ありません。買い手がモバイルブラウザを開いているかどうか自動的に検知され、モバイル最適化フローが自動表示されます。ただし、MiniLayout または iFrame インテグレーションとしても知られている templateD の場合、モバイル最適化支払いフローを表示するには、取引時に mobile または mobile-iframe を渡す必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● mobile - モバイル最適化支払いフローを表示します。MiniLayout または iFrame インテグレーションとしても知られているテンプレートの templateD を使用し、iFrame なしでモバイル最適化フローを表示させたい場合は、この値を渡します。 ● mobile-iframe - iFrame を使用してモバイル最適化ページを表示します。MiniLayout または iFrame インテグレーションとしても知られているテンプレートの templateD を使用し、iFrame によりモバイル最適化フローを表示させたい場合はこの値を渡します。

4

ウェブサイトへのiFrameの実装

PayPal では、ウェブサイトのiFrameにインテグレートできるコンパクトな支払いフォームを用意しています。このフォームはウェブサイトインテグレートされるので、買い手がウェブサイトを離れることがなく、したがって途中でやめる可能性も低くなります。また、コンパクト支払いフォームを囲むマスターフレームでチェックアウトの外観を維持できます。クレジットカードフィールドはコンパクト支払いフォームの一部であるため、この情報を別に収集する必要がありません。

重要： 次のブラウザは、iFrameに関するセキュリティの問題に対応しており、より安全に使用できます：Internet Explorer 7.0、8.0、および9.0、Firefox 24、Chrome 30、Safari 4.x および5.x。その他のブラウザのユーザーが関与する取引では、iFrameフローの使用を避けるか、取引自体を中止してください。また、iFrameのフローのほかに別リスクがあります。PayPal iFrameから攻撃が発生した場合、それはECサイトからの攻撃のように見えます。このようなリスクを回避するためには、iFrameフローを使用しないでください。

注： なりすましの恐れがあるため、このフォームにはPayPalブランドは含まれません。

iFrameの実装を希望する場合は、[MiniLayout](#) テンプレートを使用する必要があります。PayPal アカウントの「カスタマイズ」ページから[MiniLayout]も選択できます。または、取引時にHTML変数Template=TemplateDを渡すことができます。本章の例では、後者のHTML変数方法を使用してMiniLayoutテンプレートを設定しています。

MiniLayoutを使用すると、モバイルブラウザから支払いページを開いてもモバイル最適化支払いフローは自動的に表示されません。これは、モバイル向けに最適化されていない可能性のあるマーチャントのウェブページにモバイル最適化組み込みテンプレートが自動表示された場合、想定外の現象が発生する可能性があるためです。モバイル最適化フローを表示するには、取引時にHTML変数templateのmobileまたはmobile-iframeを渡します。

MiniLayout テンプレート (コンパクト支払いフォーム) には、以下のフィールドが含まれます。

- クレジットカード番号
- 有効期限
- CVV2 番号 (該当する場合。カードタイプによる)
- その他のカードタイプに必要な追加フィールド。例：Mastestro や Switch の場合、開始日と発行番号

このテンプレートには、以下のオプションも用意されています。

- [PayPalで支払う] ボタンを削除する。フォームには PayPal アカウントを使って支払うオプションがデフォルトで用意されていますが、アカウント管理者またはカスタマーサポートに連絡して、このオプションをオフにすることができます。
- [今すぐ支払う] ボタンの色を手動でカスタマイズする。

重要： showBillingAddress=true が渡された場合でも、このコンパクト支払いフォームには買い手の請求先住所は表示されません。ただし、マーチャントによっては、取引を正常に処理するため、請求先住所を渡す必要があります。

iFrame の実装

以下の方法のいずれかを選択して、コンパクト支払いフォームをウェブサイトを実装します。

- [手動インテグレーション](#)
- [API インテグレーション](#)

重要： 最適なパフォーマンスが得られるよう、iFrame アセットは画像や JavaScript などのアセットの前に読み込むことを推奨します。iFrame を読み込むときに、支払いページ上ですでに数多くのアセットが実行中の場合、iFrame のリクエストが実行されなかったり、実行が遅れる場合があります。その場合、買い手には空の iFrame が表示されることになります。

手動インテグレーション

コンパクト支払いフォームを手動でウェブサイトインテグレートするには、以下の手順を実行します。

1. ウェブサイトでコンパクト支払いフォームを表示する位置に iFrame タグを入力します。例を示します。

```
<iframe name="hss_iframe" width="570px" height="540px"></iframe>
```

コンパクト支払いフォームで使用可能なサイズは、幅 570 ピクセル、高さ 540 ピクセルです。

2. 以下のiFrameコードでは、該当するウェブペイメントプラス変数(支払い合計金額を含む)が自動入力される非表示フォームを追加し、変数TemplateDを指定します。次に、例を上げます。

```
<form style="display:none" target="hss_iframe" name="form_iframe"
method="post"
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/
webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess">
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
<input type="hidden" name="subtotal" value="50">
<input type="hidden" name="business" value="HNZ3QZMCPBAAA">
<input type="hidden" name="paymentaction" value="sale">
<input type="hidden" name="template" value="templateD">
<input type="hidden" name="return"
value="https://yourwebsite.com/receipt_page.html">
</form>
```

注： iFrame 取引が失敗した場合は、請求先住所を渡します。HTML 変数の一覧については、[HTML 変数\(支払いページの設定\)](#)を参照してください。

3. 下の例に示すように、ターゲット名がiFrame名に一致していることを確認します。

```
<iframe name="hss_iframe" width="570px" height="540px"></iframe>

<form style="display:none" target="hss_iframe" name="form_iframe"
method="post"
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/
webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess">
```

4. JavaScriptを使ってフォームを送信します。例を示します。

```
<script type="text/javascript">
    document.form_iframe.submit();
</script>
```

手動インテグレーションの例

上記の手順にしたがった例全体は、次のようになります。

```
<iframe name="hss_iframe" width="570px" height="540px"></iframe>
<form style="display:none" target="hss_iframe" name="form_iframe"
method="post"
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess">
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
<input type="hidden" name="subtotal" value="50">
<input type="hidden" name="business" value="HNZ3QZMCPBAAA">
<input type="hidden" name="paymentaction" value="sale">
<input type="hidden" name="template" value="templateD">
<input type="hidden" name="return"
value="https://yourwebsite.com/receipt_page.html">
</form>
```

```
<script type="text/javascript">
    document.form_iframe.submit();
</script>
```

API インテグレーション

API を使用してご自分のウェブサイトコンパクト支払いフォームを実装する場合は、“[ウェブペイメントプラスの支払いでのボタンマネージャ API の使用](#)”(50 ページ)を参照してください。

注： このタイプのインテグレーションには、`template=templateD` を使用します。

レスポンスには、ウェブペイメントプラスの支払いフローを開始するためのオプションが2つあります。

- [レスポンスで返される URL の使用](#)
- [Form POST の使用](#)

レスポンスで返される URL の使用

レスポンスでEMAILLINKとして指定されるURLに、下の例のようにiFrame用に「src」を追加し、買い手をリダイレクトして支払いフローを開始します。

```
<iframe src="https://securepayments.paypal.com/...?hosted_button_id=HSSS-  
.." width="570px" height="540px"></iframe>
```

コンパクト支払いフォームで使用可能なサイズは、幅 570 ピクセル、高さ 540 ピクセルです。

重要： このオプションは、Safari ブラウザではサポートされていません。下記の Form POST オプションを使用してください。

Form POST の使用

レスポンスでWEBSITECODEを識別して、このコードを使ってレビューページに[今すぐ支払う]ボタンを作成します。買い手がこのボタンをクリックすると、買い手は PayPal がホストする支払いページにリダイレクトされます。URL と同様、このボタンは約 2 時間、または支払いが完了するまで、使用できます。

1. ウェブサイトでコンパクト支払いフォームを表示する位置に iFrame タグを入力します。例を示します。

```
<iframe name="hss_iframe" width="570px" height="540px"></iframe>
```

コンパクト支払いフォームで使用可能なサイズは、幅 570 ピクセル、高さ 540 ピクセルです。

2. iFrame タグに以下を挿入します。

```
WEBSITECODE=<form  
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/  
webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">  
<input type="hidden" name="hosted_button_id" value="HSSS-  
GDrPDzuW-ADwkFDMjQmpUK1gTDdR.tv5alaGS6l.XWVVB1MTMQEnGNoLakufQb89zTj6">  
<input type="image" src="https://www.paypal.com/i/btn/btn_paynow_LG.gif"  
border="0" name="submit" alt="PayPal - The safer, easier way to pay  
online.">  
  
</form>
```

3. JavaScript を使ってフォームを送信します。例を示します。

```
<script type="text/javascript">  
    document.form_iframe.submit();  
</script>
```

API (Form POST) インテグレーションの例

上記の手順にしたがった例全体は、次のようになります。

```
<iframe name="hss_iframe" width="570px" height="540px"></iframe>

WEBSITECODE=<form
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">
<input type="hidden" name="hosted_button_id" value="HSSS-
GDrPDzuW-ADwkFDMjQmpUK1gTDdR.tv5alaGS6l.XWVVB1MTMQEnGNoLakufQb89zTj6">
<input type="image" src="https://www.paypal.com/i/btn/btn_paynow_LG.gif"
border="0" name="submit" alt="PayPal - The safer, easier way to pay
online.">

</form>
<script type="text/javascript">
    document.form_iframe.submit();
</script>
```


5

APIを使用したウェブサイトの実装

ボタンマネージャAPIを使用して、ウェブサイトではウェブペイメントプラス支払いフローを開始するチェックアウトボタンをプログラムで作成することができます。チェックアウトボタンは、買い手がウェブサイトではチェックアウトしようとするときに、動的に作成します。買い手がチェックアウトボタンをクリックしたら、マーチャントはBMCCreateButton APIオペレーションを呼び出して、それをウェブページに表示します。買い手は、このチェックアウトボタンをクリックすると、PayPal 支払いページにリダイレクトされ、そこで支払いを完了します。

HTML 変数は、PayPal 支払いページの外観、ページに含まれる情報、および買い手が支払いページを離れた後で戻るためのページをコントロールします。HTML 変数の一覧については、「[HTML 変数\(支払いページの設定\)](#)」(17ページ)を参照してください。

ボタンマネージャ APIの詳細情報は、「[ボタンマネージャAPIリファレンス](#)」を参照してください。

注： ボタンマネージャAPIを使用して、チェックアウトボタンをプログラムで作成することができます。ただし、ボタンの管理、編集、削除はできません。

ボタンのホスティング

ウェブペイメントプラスでは、BUTTONTYPE=PAYMENTを使って、以下のチェックアウトボタンを作成できます。

- **トークンボタン** (BUTTONCODE=TOKEN) は、PayPal 上に保存されません。これらのボタンは動的で、ウェブペイメントプラス支払いフローを開始します。この種類のボタンに関連付けられるパラメータは、より安全です。使用しないまま約2時間経過すると、無効になります。
- **暗号化ボタン** (BUTTONCODE=ENCRYPTED) は、PayPal 上に保存されません。この種類のボタンに関連付けられるパラメータは、暗号化されます。暗号化ボタンやその関連情報を変更するたびに、そのボタンを使用するウェブページを更新する必要があります。
- **クリアテキストボタン** (BUTTONCODE=CLEARTEXT) は、PayPal 上に保存されません。この種類のボタンに関連付けられるパラメータは、暗号化されません。クリアテキストボタンは、パラメータの値をいつでも変更できるので、動的に使用できます。ただし、クリアテキストボタンを使用する場合は、重要な情報が改ざんされたり、盗まれたりする恐れがある点に注意してください。

注： ホスト型ボタン (BUTTONCODE=HOSTED) は、ウェブペイメントプラスではサポートされていません。使用するとエラーが返されます。

ボタンマネージャ APIの詳細については、「[BMCCreateButton API オペレーション](#)」(55ページ)を参照してください。

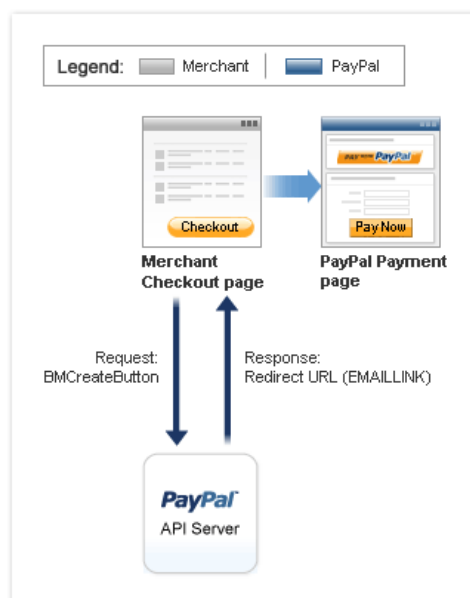
ウェブペイメントプラスの支払いでのボタンマネージャ APIの使用

ウェブサイトにチェックアウトボタンを作成するには、BMCreateButton API オペレーションを呼び出します。買い手がチェックアウトボタンをクリックすると、PayPalにより PayPal プロウェブペイメントプラス

ウェブペイメントプラスの支払いフローを開始するためのオプションが2つあります。

- レスポンスで返される URL の使用 (推奨)
- Form POST の使用

レスポンスで返される URL の使用 (推奨)



レスポンスで EMAILLINK として指定される URL を使って、買い手をリダイレクトして支払いフローを開始することができます。

TOKEN の例

```
EMAILLINK=https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/w  
ebflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess?hosted_button_id=HSSS-GDrPDzuW-  
ADwkFDMjQmpUK1gTDdR.tv5alaGS6l.XWVVB1MTMQEnGNoLakufQb89zTjf6&HOSTEDBUTTONID  
=HSSS-GDrPDzuW-ADwkFDMjQmpUK1gTDdR.tv5alaGS6l.XWVVB1MTMQEnGNoLakufQb89zTjf6  
&TIMESTAMP=2010-09-15T00:30:35Z&CORRELATIONID=2fc9a340a2356&ACK=Success  
&VERSION=65.0&BUILD=1500269
```

ENCRYPTED の例

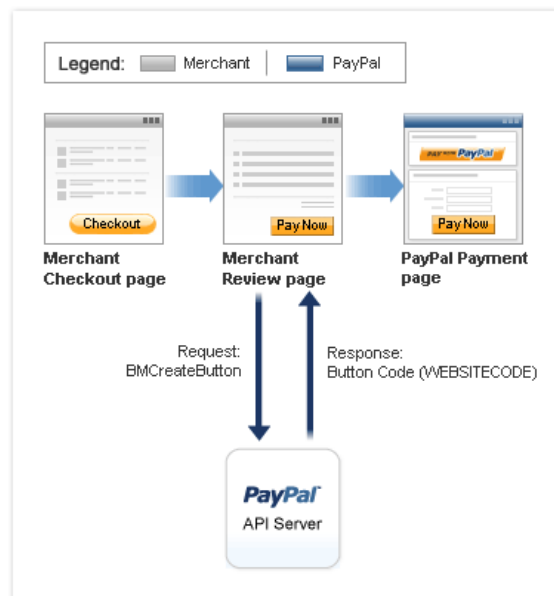
```
EMAILLINK=https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/w  
ebflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess?cmd=_hosted-  
payment&business=idc%2dautomation%2duk%2dpro%2dt1%40paypal%2ecom&tax=2&ship  
ping=3&business=K5HHZSMWMCN58&subtotal=11&handling=4&TIMESTAMP=2010-09-  
15T00:39:06Z&CORRELATIONID=23d12ce1161f2&ACK=Success&VERSION=65.0&BUILD=150  
0269
```

CLEARTEXT の例

```
EMAILLINK=https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/w  
ebflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess?cmd=_hosted-  
payment&business=idc%2dautomation%2duk%2dpro%2dt1%40paypal%2ecom&tax=2&ship  
ping=3&business=K5HHZSMWMCN58&subtotal=11&handling=4&TIMESTAMP=2010-09-  
15T00:40:32Z&CORRELATIONID=64553e7c7c84&ACK=Success&VERSION=65.0&BUILD=1500  
269
```

ボタン変数により、フローの外観および買い手に最初に示される情報がコントロールされます。URLはウェブペイメントプラストークンに関連付けられているため、このURLは作成されてから約2時間、または支払いが完了するまで、使用できます。

Form POST の使用



レスポンスでWEBSITECODEを識別して、このコードを使ってレビューページに[今すぐ支払う]ボタンを作成します。買い手がこのボタンをクリックすると、買い手はPayPalがホストする支払いページにリダイレクトされます。URLと同様、このボタンは約2時間、または支払いが完了するまで、使用できます。

APIを使用したウェブサイトの実装

ウェブペイメントプラスの支払いでのボタンマネージャ APIの使用

TOKEN の例

```
WEBSITECODE=<form
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">
<input type="hidden" name="hosted_button_id" value="HSSS-GDrPDzuW-
ADwkFDMjQmpUK1gTDdR.tv5alaGS6l.XWVVB1MTMQEnGNoLakufQb89zTj6">
<input type="image"
src="https://www.paypal.com/en_US/i/btn/btn_auto_billing_LG.gif" border="0"
name="submit" alt="PayPal - The safer, easier way to pay online.">

</form>
```

ENCRYPTED の例

```
WEBSITECODE=<form
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">
<input type="hidden" name="encrypted" value="BEGIN PKCS7.....END PKCS7">
<input type="image"
src="https://www.paypal.com/en_US/i/btn/btn_auto_billing_LG.gif" border="0"
name="submit" alt="PayPal - The safer, easier way to pay online.">

</form>
```

CLEARTEXT の例

```
WEBSITECODE=<form
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
<input type="hidden" name="business" value="test1@paypal.com">
<input type="hidden" name="tax" value="2">
<input type="hidden" name="shipping" value="3">
<input type="hidden" name="business" value="K5HHZSMWMCN58">
<input type="hidden" name="subtotal" value="11">
<input type="hidden" name="paymentaction" value="sale">
<input type="hidden" name="handling" value="4">
<input type="image"
src="https://www.paypal.com/en_US/i/btn/btn_auto_billing_LG.gif" border="0"
name="submit" alt="PayPal - The safer, easier way to pay online.">

</form>
```

注： PayPal 支払いページには、チェックアウトフローを完了するために「今すぐ支払う」と指定されたボタンが表示されます。PayPal ページの[今すぐ支払う]ボタンは、BMCreateButton API オペレーションによってレビューページに作成された[今すぐ支払う]ボタンとは異なります。混乱を避けるため、後者の URL を `BUTTONIMAGEURL` で変更する必要がある場合があります。BUTTONIMAGEURL で URL を指定しない場合、このボタンにはデフォルトの「今すぐ支払う」が使用されます。

公開 / 秘密鍵を使ったボタンの暗号化

暗号化されたウェブペイメントを使用すると、生成した、または手動で記述した支払いボタンの保護に役立ちます。暗号化されたウェブペイメントは、価格情報を含む HTML ボタンコードを暗号化することによって、コードを保護します。暗号化されたウェブペイメントを使用して HTML ボタンコードを保護すると、悪意のある第三者がコードを変更して不正な支払いを作成することができません。詳細については、[67 ページの第 8 章「暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護」](#)を参照してください。

ウェブペイメントプラスの支払い開始の例

次の例は、BUTTONCODE=TOKEN を使用した NVP パラメータです。ウェブペイメントプラスの支払いフローを開始するための URL を作成できます。

```
...
BUTTONCODE=TOKEN
BUTTONTYPE=PAYMENT
BUTTONIMAGEURL=https://www.paypal.com/en_US/i/btn/btn_billing.gif
L_BUTTONVAR0=subtotal=11
L_BUTTONVAR1=tax=2
L_BUTTONVAR2=shipping=3
L_BUTTONVAR3=handling=4
L_BUTTONVAR4=first_name=Bob
L_BUTTONVAR5=last_name=Jones
L_BUTTONVAR6=address1=Gardens
L_BUTTONVAR7=address2=99343
L_BUTTONVAR8=city=Paris
L_BUTTONVAR9=state=Alsace
L_BUTTONVAR10=zip=75002
L_BUTTONVAR11=country=FR
L_BUTTONVAR12=billing_first_name=BobBilling
L_BUTTONVAR13=billing_last_name=JonesBilling
L_BUTTONVAR14=billing_address1=5088 - 061 Craven Hill Gardens
L_BUTTONVAR15=billing_address2=Apt# 199343
L_BUTTONVAR16=billing_city=Wolverhampton
L_BUTTONVAR17=billing_state=West Midlands
L_BUTTONVAR18=billing_zip=W12 4LQ
L_BUTTONVAR19=billing_country=GB
L_BUTTONVAR20=night_phone_a=408
```

APIを使用したウェブサイトの実装

ウェブペイメントプラスの支払いでのボタンマネージャ APIの使用

```
L_BUTTONVAR21=night_phone_b=398
L_BUTTONVAR22=night_phone_c=3065
L_BUTTONVAR23=notify_url=www.yourcompany.com
L_BUTTONVAR24=custom=custom1
L_BUTTONVAR25=cancel_return=http://www.cancel_return.com
L_BUTTONVAR26=paymentaction=sale
L_BUTTONVAR27=currency_code=GBP
L_BUTTONVAR28=invoice=123456789
L_BUTTONVAR29=lc=GB
L_BUTTONVAR30=showBillingAddress=false
L_BUTTONVAR31=showShippingAddress=false
L_BUTTONVAR32=showBillingEmail=true
L_BUTTONVAR33=showBillingPhone=true
L_BUTTONVAR34=showCustomerName=true
L_BUTTONVAR35=showCardInfo=true
L_BUTTONVAR36=showHostedThankyouPage=true
L_BUTTONVAR37=bn=GBD
L_BUTTONVAR38=cbt=Merchant ABCD
L_BUTTONVAR39=address_override=false
L_BUTTONVAR40=cpp_header_image=Red
L_BUTTONVAR41=logoText=YourCompanyLogo
L_BUTTONVAR42=logoImage=http://yourcompanyimages.com/logo.gif
L_BUTTONVAR43=logoImagePosition=center
L_BUTTONVAR44=logoFont=Arial Bold
L_BUTTONVAR45=logoFontSize=24px
L_BUTTONVAR46=logoFontColor=#f0ff0f
L_BUTTONVAR47=bodyBgImg=sdf
L_BUTTONVAR48=bodyBgColor=#AEAEAE
L_BUTTONVAR49=headerHeight=70px
L_BUTTONVAR50=headerBgColor=#4B6BA1
L_BUTTONVAR51=PageTitleTextColor=Blue
L_BUTTONVAR52=PageCollapseBgColor=Blue
L_BUTTONVAR53=PageCollapseTextColor=Yellow
L_BUTTONVAR54=PageButtonBgColor=Blue
L_BUTTONVAR55=PageButtonBgColor=Blue
L_BUTTONVAR56=orderSummaryBgColor=#EDF2F7
L_BUTTONVAR57=orderSummaryBgImage=http://teamworks/scr_bg_ordersummary.jpg
L_BUTTONVAR58=footerTextColor=#333333
L_BUTTONVAR59=footerTextlinkColor=#00f00f
L_BUTTONVAR60=template=templateC
L_BUTTONVAR61=return=http://www.yourcompany.com
```

BMCreateButton API オペレーション

BMCreateButton API オペレーションを使用して、ウェブペイメントプラスのチェックアウトボタンを作成します。

- [BMCreateButton リクエスト](#)
- [BMCreateButton レスポンス](#)
- [BMCreateButton エラー](#)

BMCreateButton リクエスト

リクエストのフィールドには、ボタンに関連するメニュー項目を含む、ボタンの特性を指定します。メニュー項目は5つまで指定できます。各項目には、最大10個の選択肢を含めることができます。

BMCreateButton リクエストフィールド

注： PayPal に渡す値には、`(){}<>\"'`は使用できません。

フィールド	説明
METHOD	(必須) BMCreateButton
BUTTONCODE	(オプション) 作成するボタンコードの種類。以下のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none">• TOKEN - セキュアなボタンで PayPal に保存されません。ウェブペイメントプラスの支払いフローの開始にのみ使用されます。[今すぐ支払う] ボタンの初期値です。バージョン 65.2 以降。• ENCRYPTED - 暗号化ボタン。PayPal に保存されません。• CLEARTEXT - 非暗号化ボタン。PayPal に保存されません。
BUTTONTYPE	(必須) 作成するボタンの種類。 PAYMENT - [今すぐ支払う] ボタン。バージョン 65.2 以降。
L_BUTTONVAR <i>n</i>	(オプション) HTML 標準ボタン変数。

APIを使用したウェブサイトの実装

BMCreateButton API オペレーション

BMCreateButton レスポンス

レスポンスには、ウェブサイトのHTMLおよびメール内のリンクのコードが含まれ、ボタンがPayPalでホストされる場合はIDも含まれます。

BMCreateButton レスポンスのフィールド

フィールド	説明
WEBSITECODE	ウェブページのHTMLコード
EMAILLINK	ウェブペイメントプラスの支払いフローのURLのコード
HOSTEDBUTTONID	ウェブペイメントプラストークンのID

BMCreateButton エラー

エラーコード番号またはエラーメッセージを検索するには、「[PayPal APIエラーコード](#)」ページを参照してください。

6

Sandbox でのインテグレーションのテスト

PayPal Sandbox は、PayPal 機能を仮設定してテストできる独立した環境です。PayPal Sandbox は、実際の PayPal ウェブサイトをほぼ同じ状態で複製したものです。その目的は、テストおよびインテグレーションのために遮蔽環境 (shielded enviroment) をデベロッパーに提供し、実際のサイトで PayPal インテグレーション ソリューションをテストする際に起こる可能性のある問題をできるだけ回避することです。PayPal ベースのアプリケーションを実環境に移す前に、アプリケーションを Sandbox でテストして、意図したとおりに機能すること、および PayPal デベロッパー規約によって設定されたガイドラインと基準内で機能することを確認してください。

PayPal Sandbox 使用の詳細については、『[Sandbox ユーザーガイド](#)』を参照してください。

Sandbox アカунトの信用証明書

テストを行う国の **PayPal Sandbox** ビジネスアカウントの作成:

- <https://developer.paypal.com/> で、PayPal デベロッパーサイトにログインします。既存の PayPal アカウンの信用証明書を使ってログインするか、新しいアカウントを登録してください。
- *[Applications]* > *[Sandbox accounts]* にアクセスし、*[Create Account]* ボタンをクリックします。
- *[Country]* ドロップダウンを使用して実装をテストする国を選択します。
- *[Bank Verified Account]* を *[Yes]* に設定します。
- フォームの残りの部分を完成し、*[Create Account]* をクリックします。

注： アカウンの名前は任意の名前を使用でき、*[Login in with PayPal]* ボックスの選択は不要です。

PayPal Sandbox ビジネスアカウントの認証:

- 新しく作成した PayPal Sandbox ビジネスアカウントのメールアドレスとパスワードを使用して、Sandbox テストサイト (<https://www.sandbox.paypal.com>) にログインしてください。
- メインの「マイ アカウン」ページで *[未認証]* をクリックします。
- 「認証を実行して支払限度額を解除」ページで *[銀行口座の追加]* をクリックします。
- すべてのフィールドに架空の情報を入力します。

注： *[ソートコード]* と *[口座番号]* は一意の値でなければなりません。

- *[続行]* > *[銀行口座の追加]* をクリックしてテスト用銀行口座を登録します。

Sandboxでのインテグレーションのテスト

Sandbox アカウントの信用証明書

- 「*Set-up Bank Funding*(銀行口座からの資金追加の設定)」ページを開き、[続行] をクリックします。
- [送信] をクリックして、認証プロセスを完了します。

プロアカウントへのアップグレード:

Sandbox ビジネスアカウントのメールアドレスの横の矢印をクリックし、次にメールアドレスの下方に表示された *[Profile]* リンクをクリックします(下の図でハイライト表示されている箇所)。

Applications

- My apps
- Sandbox accounts**
- Tools**
 - IPN simulator

Sandbox test accounts

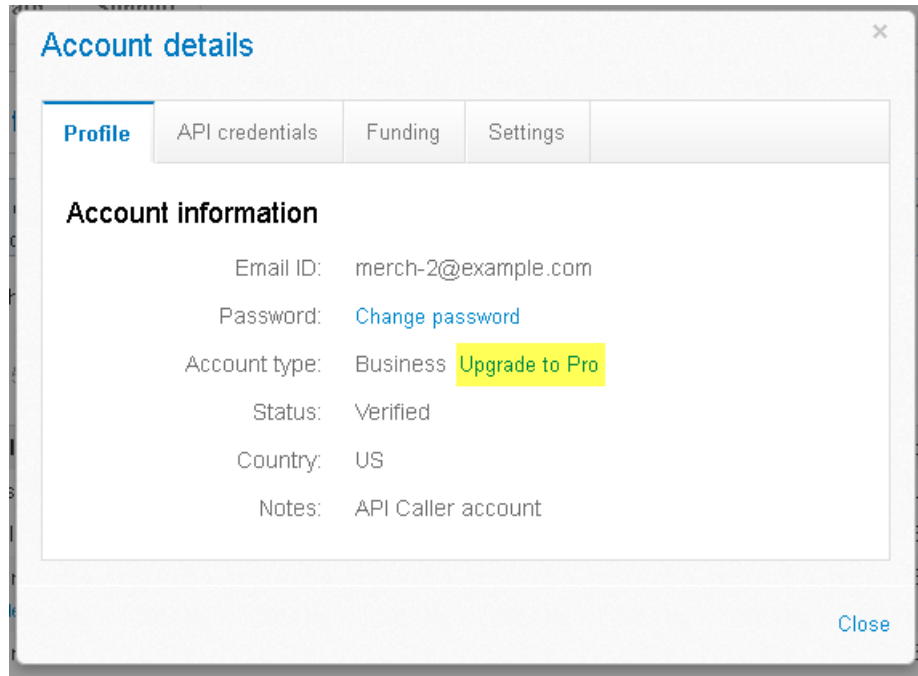
Import your existing Sandbox test accounts using the email address and password of a PayPal account that you want to use for development. You can import only once. [Learn more](#)

Questions? Check out the [Testing Guide](#). Non-US developers should read our [FAQ](#).

Total records: 1 [Enter Sandbox site](#)

<input type="checkbox"/>	Email address
<input type="checkbox"/>	pp.devdocs.130807-facilitator@gmail.com Profile Notifications

[Sandbox account details] ウィンドウが開きます。ウィンドウの [Profile] タブから [Upgrade to Pro] を選択します。続いて [Enable] ボタンをクリックします。



Sandbox パーソナルアカウントの設定:

デベロッパーサイトの [Applications] > 「Sandbox accounts」 ページで、複数のビジネス(売り手)アカウントおよびパーソナル(買い手)アカウントを作成し、Sandbox のテスト取引でそれらのアカウントを使用することができます。詳細は『[Sandbox ユーザーガイド](#)』を参照してください。

Sandbox テストサイトでウェブペイメントプラスの実装をテストする準備ができました。

インテグレーションと設定のテスト

以下のセクションに、Sandbox 環境でインテグレーションのテストや支払いページの外観の変更をするための情報が記載されています。

- [実装のテスト](#)
- [設定のテスト](#)

実装のテスト

Sandbox 環境でインテグレーションをテストするには、“[シンプルなウェブペイメントプラス実装](#)”(15 ページ) で指定された手順にしたがいます。テストの目的のため、以下の変更を Form POST でおこなう必要があります。

1. URL が Sandbox 環境を指すよう変更します。

変更前:

```
<form
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/
webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
```

変更後:

```
<form
action="https://securepayments.sandbox.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
```


2. `business` 値を、Sandbox テストサイトの「個人設定」ページの上部で指定されたセキュアなマーチャント ID に変更します。

これによって、テスト目的の Form POST は次のようになります。

```
<form
action="https://securepayments.sandbox.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
<input type="hidden" name="subtotal" value="50">
<input type="hidden" name="business" value="HNZ3QZMCPBAAA">
<input type="hidden" name="paymentaction" value="sale">
<input type="hidden" name="return"
value="https://yourwebsite.com/receipt_page.html">
<input type="submit" name="METHOD" value="Pay Now">
</form>
```

設定のテスト

支払いページの外観を変更するには、Sandbox テストサイトの「Profile」セクションでカスタマイズの設定および「Settings」ページを変更します。詳細については、[“PayPal アカウント設定の変更”\(22 ページ\)](#)を参照してください。



Sandboxでのインテグレーションのテスト

インテグレーションと設定のテスト

7

注文処理

この章では、いよいよ最後の注文処理について説明します。注文に対応する前の取引のステータスと信頼性の検証に関する情報が含まれます。

取引のステータスと信頼性の検証

買い手は、取引を完了すると、PayPal の確認ページか、return 変数または「個人設定」セクションの「設定」ページで指定したウェブサイトへリダイレクトされます(“[シンプルなウェブペイメントプラス実装”\(15 ページ\)](#) 参照)。指定したウェブサイトへリダイレクトされる際に、取引 ID が URL に付加されます。

注： その取引 ID を確実に復帰 URL に付加するには、PayPal マーチャントアカウントにログインして、[個人設定] を選択します。「個人設定」ページの [ウェブペイメント スタンダードとエクスプレス チェックアウト] で、[設定] を選択し、[自動復帰] がオンになっていることを確認してください。

Auto Return for Website Payments

Auto Return for Website Payments brings your buyers back to your website immediately after payment completion. Auto Return applies to PayPal Website Payments, including Buy Now, Donations, Subscriptions and Shopping Cart. [Learn More](#)

Auto Return: ☒ On
☐ Off

同じ設定ページで、[支払いデータ転送] がオンになっていることも確認してください。

Payment Data Transfer (optional)

Payment Data Transfer allows you to receive notification of successful payments as they are made. The use of Payment Data Transfer depends on your [system configuration](#) and your Return URL. Please note that in order to use Payment Data Transfer, you **must** turn on Auto Return.

Payment Data Transfer: ☒ On
☐ Off

リダイレクト (URL プラス取引 ID) を受け取ったら、商品を買手に発送する前に、PayPal で注文が正常に完了したことを検証する必要があります。これをおこなうには、PayPal から送られた確認メールをチェックするか、取引履歴を検証します。また、以下のいずれかの方法を使用できます。

即時支払い通知 (IPN) の検証

IPNによって、非同期のサーバーからサーバーへの通信を通してPayPalから送られる、取引の支払いおよびアクティビティに関するメッセージを受信できます。これによって、オンライン支払いを注文対応処理にインテグレートすることができます。

IPNを通じて、以下のメッセージを受け取ります。

- 支払いおよびそのステータス (未決済、完了、または拒否)
- 不正防止管理フィルタのアクション
- 定期支払いアクティビティ
- 与信、チャージバック、異議、支払い取り消し、および払い戻し

取引が処理された後、パラメータ `notify_url` を使用した取引で指定された通知 URL、または PayPal の個人設定で指定された URL に IPN が送られます。IPN で送られた取引 ID、取引金額、および請求書 ID など注文固有のパラメータが、ご自分の注文処理システムの情報と一致することを検証する必要があります。詳細については、『[即時支払い通知 \(IPN\) 実装ガイド](#)』を参照してください。

GetTransactionDetails API コールの実行

GetTransactionDetails を使用して、特定の取引に関する情報を取得できます。
PayPal API にインテグレートされていれば、ウェブリダイレクトで返された取引 ID で
GetTransactionDetails を呼び出して、注文の信頼性を検証できます。
詳細については、“[GetTransactionDetails API](#)”(75 ページ) を参照してください。

注文対応

決済金額とステータスの信頼性を検証したら、商品を買手に発送して注文に対応できます。



8

暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護

暗号化されたウェブペイメントを使用すると、生成した、または手動で記述した支払いボタンの保護に役立ちます。暗号化されたウェブペイメントは、価格情報を含む HTML ボタンコードを暗号化することによって、コードを保護します。暗号化されたウェブペイメントを使用して HTML ボタンコードを保護すると、悪意のある第三者がコードを変更して不正な支払いを作成することができません。

暗号化されたウェブペイメントは、標準の公開鍵暗号方式を使用してコードを保護します。公開鍵および秘密鍵を使用して、支払いボタンの HTML コードを動的に生成し、ボタンをウェブサイト上に表示する前に支払いの詳細を暗号化することができます。下の表は、暗号化されたウェブペイメントを使用して保護された支払いボタンについて生じるアクションを順に示しています。

表 8.1 暗号化されたウェブペイメントの仕組み

ウェブサイトのアクション	買い手のアクション	PayPal のアクション
ウェブサイトの公開鍵を生成して PayPal にアップロードし、PayPal の公開鍵証明書をウェブサイトダウンロードします。		
注： このアクションは、ウェブペイメントプラスをウェブサイト最初に実装するときに一度だけ行います。		
支払いボタンの HTML コードを生成します。		
PayPal 公開鍵を使用して生成されたコードを暗号化し、ウェブサイトの秘密鍵を使用して暗号化されたコードに署名します。		
署名付きの暗号化された HTML コードをウェブサイトの支払いボタンとして公開します。	公開された PayPal 支払いボタンをクリックします。	以前に PayPal にアップロードされたウェブサイトの公開鍵を使用して、データの信頼性を確認します。
		PayPal の秘密鍵を使用して、保護されたボタンコードを復号します。

表 8.1 暗号化されたウェブペイメントの仕組み

ウェブサイトのアクション	買い手のアクション	PayPalのアクション
		復号されたボタンコードのHTML変数で指定されているように、支払人のブラウザを適切なPayPalチェックアウト処理にリダイレクトします。

暗号化されたウェブペイメントで使用する公開鍵暗号

暗号化されたウェブペイメントでは、公開鍵暗号、つまり非対称暗号方式を使用します。この方法では、暗号化された通信の送信者および受信者が公開鍵を交換して互いのメッセージを復号することにより、セキュリティと利便性が提供されます。公開鍵暗号方式の概要は次のとおりです。

- **公開鍵** - 公開鍵は受信者によって作成され、情報を暗号化および送信する前に送信者に提供されます。公開鍵証明書は、公開鍵と、鍵の作成者や有効期限などの識別情報で構成されます。公開鍵証明書には、証明機関の署名を受けることができます。証明機関は、公開鍵証明書および公開鍵が指定のエンティティに属することを保証する組織です。

マーチャントとPayPalが互いの公開鍵証明書を交換します。

- **秘密鍵** - 秘密鍵は受信者によって作成され、受信者が保持します。
マーチャントは秘密鍵を作成し、自社のシステムに保持します。PayPalは自身の秘密鍵を自身のシステムに保持します。
- **暗号化処理** - 送信者は、自分の秘密鍵および受信者の公開鍵を使用して、情報を送信する前に情報を暗号化します。受信者は、自分の秘密鍵および送信者の公開鍵を使用して、受信した情報を復号します。また、この暗号化処理では、公開鍵証明書のデジタル署名を使用して情報の送信者を確認します。
マーチャントは、自身の秘密鍵およびPayPalの公開鍵を使用してHTMLボタンコードを暗号化します。支払いボタンがクリックされると、PayPalは、自身の秘密鍵およびマーチャントの公開鍵を使用してボタンコードを復号します。

暗号化されたウェブペイメントを使用する前に証明書を設定する

暗号化されたウェブペイメントを使用して支払いボタンを保護する前に、以下の手順を実行します。

- [OpenSSLを使用した秘密鍵の生成](#)
- [OpenSSLを使用した公開鍵証明書の生成](#)
- [PayPal アカウントへの公開鍵証明書のアップロード](#)
- [PayPal ウェブサイトからのPayPal 公開鍵証明書のダウンロード](#)

PayPal は、公開鍵ではなく、X.509 公開鍵証明書のみを使用します。公開鍵は復号に使用することができますが、鍵の提供元を識別する情報が含まれていません。公開鍵証明書には、公開鍵と共に、鍵の有効期限や所有者などの鍵に関する情報が含まれます。PayPal は、VeriSign など確立された証明機関からの公開鍵証明書を OpenSSL PEM 形式で受け付けます。

OpenSSL (<https://www.openssl.org>) などのオープンソースソフトウェアを使用して、自身の秘密鍵および公開鍵証明書を生成できます。これについては、以下のセクションで詳しく説明します。

OpenSSL を使用した秘密鍵の生成

openssl プログラムを使用して以下のコマンドを入力し、秘密鍵を生成します。このコマンドによって 1024 ビットの RSA 秘密鍵が生成され、my-prvkey.pem ファイルに保存されます。

```
openssl genrsa -out my-prvkey.pem 1024
```

OpenSSL を使用した公開鍵証明書の生成

公開鍵証明書は PEM 形式である必要があります。証明書を生成するには、次の openssl コマンドを入力します。このコマンドにより、my-pubcert.pem ファイルに公開鍵証明書が生成されます。

```
openssl req -new -key my-prvkey.pem -x509 -days 365 -out my-pubcert.pem
```

PayPal アカウントへの公開鍵証明書のアップロード

公開鍵証明書を PayPal アカウントにアップロードするには：

1. 以下のサイトで PayPal アカウントにログインします：

<https://www.paypal.jp>

2. [個人設定] サブタブをクリックします。

3. [ウェブペイメントソリューションの設定] 列で、[ウェブ ペイメント証明書] をクリックします。

「ウェブペイメントの証明書」ページが表示されます。

4. ページの下の方にスクロールし、「公開鍵証明書」セクションの [追加] ボタンをクリックします。

「証明書の追加」ページが表示されます。

5. [参照] ボタンをクリックし、ローカルコンピュータから PayPal にアップロードする公開鍵証明書を選択します。

注： アップロードするファイルは PEM 形式である必要があります。

暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護

暗号化されたウェブペイメントを使用する前に証明書を設定する

6. [追加]をクリックします。

公開鍵証明書が正しくアップロードされると、「ウェブペイメントの証明書」ページの「公開鍵証明書」セクションに表示されます。

7. PayPal から公開鍵証明書に割り当てられた証明書 ID を安全な場所に保管してください。PayPal によって提供される暗号化されたウェブペイメント ソフトウェアを使用して支払いボタンを暗号化するには、PayPal から割り当てられた証明書 ID が必要です。

PayPal ウェブサイトからの PayPal 公開鍵証明書のダウンロード

PayPal の公開鍵証明書をダウンロードするには：

1. 以下のサイトで PayPal アカウントにログインします：
<https://www.paypal.jp>
2. [個人設定] サブタブをクリックします。
3. [販売の設定] 列の [暗号化支払いの設定] リンクをクリックします。
4. 「PayPal 公開鍵証明書」セクションまでスクロールします。
5. [ダウンロード] をクリックし、ローカルコンピュータ上の安全な場所にファイルを保存します。

公開鍵証明書の削除

重要： 公開鍵証明書を削除すると、関連付けられている証明書 ID はボタンの暗号化において無効になり、その ID を使用してウェブサイトで生成または手動で記述されたボタンは正しく機能しなくなります。

公開鍵証明書を削除するには：

1. 以下のサイトで PayPal アカウントにログインします：
<https://www.paypal.jp>
2. [個人設定] サブタブをクリックします。
3. [販売の設定] 列の [暗号化支払いの設定] リンクをクリックします。
4. 「PayPal 公開鍵証明書」セクションまでスクロールします。
5. 削除する証明書の横のラジオボタンを選択し、[削除] をクリックします。
「証明書の削除」ページが表示されます。
6. [削除] ボタンをクリックし、選択した公開鍵証明書を削除することを確認します。

暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護

暗号化されたウェブペイメントを使用する前に証明書を設定する

暗号化されたウェブペイメントを使用して支払いボタンを保護する

暗号化されたウェブペイメントには、生成または記述した支払いボタンを保護する、Java および Microsoft Windows のソフトウェアが含まれます。PayPal にログインして次の場所からソフトウェアをダウンロードしてください。 <https://www.paypal.com/us/cgi-bin/webscr?cmd=p/xcl/rec/ewp-code>

ソフトウェアをダウンロードして解凍した後に、秘密鍵、公開鍵証明書、p12 ファイルおよび PayPal の公開鍵証明書を、ソフトウェアがあるフォルダにコピーします。

1. 生成する暗号化ボタンごとに、ウェブペイメントプラスの変数と値の入力ファイルを用意します。変数および値はそれぞれ、以下の例のように独立した行に存在する必要があります。

注： cert_id 変数により、PayPal のウェブサイトアップロードした公開鍵証明書が識別されます。

```
cert_id=Z24MFU6DSHBXQ
cmd=_xclick
business=sales@company.com
item_number=1234
custom=sc-id-789
amount=500.00
currency_code=USD
tax=41.25
shipping=20.00
address_override=true
address1=123 Main St
city=Austin
state=TX
zip=94085
country=US
no_note=1
cancel_return=http://www.company.com/cancel.htm
```

2. 以下に示す該当の構文を使用して、暗号化ソフトウェアを実行します。

- **Java:** PPEncrypt CertFile PrivKeyFile PPCertFile InputFile
OutputFile [Sandbox]
- **Microsoft Windows:** java ButtonEncryption CertFile PKCS12File
PPCertFile Password InputFile OutputFile [Sandbox]

引数は以下のとおりです。

- **CertFile**: 公開鍵証明書のパス名
- **PKCS12File**: 公開鍵証明書の PKCS12 形式のパス名
- **PPCertFile**: PayPal の公開鍵証明書のコピーのパス名
- **Password**: 公開鍵証明書の PKCS12 形式へのパスフレーズ
- **InputFile**: 暗号化されていないウェブペイメント HTML Form 変数を含むファイルのパス名
- **OutputFile**: 暗号化された出力のファイル名
- **[Sandbox]**: 暗号化されたウェブペイメントを使用して保護した支払いボタンを PayPal Sandbox でテストするためのオプションの語である Sandbox


3. 暗号化されたコードをウェブサイトのコピーします。

保護および暗号化されていないウェブペイメントの拒否

保護および暗号化されたボタンのセキュリティを強化するため、PayPal アカウント個人設定を更新して、保護および暗号化されていない支払いを拒否します。

保護および暗号化されていないウェブペイメント スタンダードボタンからの支払いを拒否するには：

1. 以下のサイトで PayPal アカウントにログインします：
<https://www.paypal.jp>
2. [個人設定] サブタブをクリックします。
3. [販売の設定] 列の [暗号化支払いの設定] リンクをクリックします。
4. 「暗号化されたウェブペイメント」セクションまでスクロールします。
5. [暗号化されていないウェブペイメントを拒否] の横にある [オン] のラジオボタンを選択します。
6. ページ下部までスクロールし、[保存] をクリックします。



暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護
暗号化されたウェブペイメントを使用する前に証明書を設定する

A

オプションの API オペレーション

取引 ID を使用すると、多数の PayPal API オペレーションを使用することができます。ウェブペイメントプラスでもっともよく利用されている API は、次のとおりです。

- [GetTransactionDetails API](#)
- [RefundTransaction API](#)
- [DoCapture API](#)

GetTransactionDetails API

特定の取引に関する情報を取得します。

- [GetTransactionDetails リクエスト](#)
- [GetTransactionDetails レスポンス](#)

GetTransactionDetails リクエスト

表 A.1 GetTransactionDetails リクエストのフィールド

フィールド	説明
METHOD	GetTransactionDetails である必要があります。
TRANSACTIONID	(必須) 取引に固有の識別子。 注： 一部の種類の取引の詳細は、GetTransactionDetails では取得することができません。たとえば、銀行振替の引き出しの詳細を取得することはできません。 文字の長さ制限 - 半角英数字 17 文字。

GetTransactionDetails レスポンス

注： 必ずしも GetTransactionDetailsResponse レスポンスの正式な構造で定義されたすべてのフィールドが返されるわけではありません。そのフィールドに対応するデータを PayPal が記録している場合に限り、レスポンスでデータが返されます。

- 受取人情報フィールド
- 支払人情報フィールド
- 支払人名フィールド
- 住所フィールド
- 支払い情報フィールド
- 支払い商品情報フィールド
- 支払い商品フィールド
- オークションフィールド
- 購読条件フィールド

受取人情報フィールド

表 A.2 受け取り情報フィールド

フィールド	説明
RECEIVERMAIL	支払いの受取人(売り手)のメインメールアドレス。 メインのメールアドレス以外のアドレスに支払いが送られる場合でも、RECEIVER の値はメインのメールアドレスとなります。 文字の長さ制限 - 半角英数字 127 文字
RECEIVERID	支払いの受取人(売り手)の固有のアカウント ID。この値は、受取人の紹介 ID の値と同じです。

支払人情報フィールド

表 A.3 支払人情報フィールド

フィールド	説明
EMAIL	支払人のメールアドレス。 文字の長さ制限 - 半角 127 文字
PAYERID	固有の PayPal 顧客アカウント識別番号。 文字の長さ制限 - 半角英数字 13 文字。
PAYERSTATUS	支払人のステータス。有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• verified• unverified 文字の長さ制限 - 半角英字 10 文字。
SHIPTOCOUNTRYCODE	ISO 標準 3166 の 2 文字の国コード形式で表された、支払人の居住国。 文字の長さ制限 - 半角 2 文字
PAYERBUSINESS	支払人の事業者名。 文字の長さ制限 - 半角 127 文字

支払人名フィールド

表 A.4 支払人名フィールド

フィールド	説明
SALUTATION	支払人の敬称。 文字の長さ制限 - 半角 20 文字
FIRSTNAME	支払人の名。 文字の長さ制限 - 半角英数字 25 文字。
MIDDLENAME	支払人のミドルネーム。 文字の長さ制限 - 半角英数字 25 文字。
LASTNAME	支払人の姓。 文字の長さ制限 - 半角英数字 25 文字。
SUFFIX	支払人のサフィックス。 文字の長さ制限 - 半角英数字 12 文字。

住所フィールド

表 A.5 住所フィールド

フィールド	説明
ADDRESSOWNER	この住所を管理する eBay の会社。 有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • eBay • PayPal
ADDRESSSTATUS	PayPal に記録されている住所のステータス。 有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • none • Confirmed • Unconfirmed
SHIPTONAME	この住所が登録されているメンバーの名前。 文字の長さ制限 - 半角 32 文字。
SHIPTOSTREET	住所の 1 行目。 文字の長さ制限 - 半角 100 文字。
SHIPTOSTREET2	住所の 2 行目。 文字の長さ制限 - 半角 100 文字。
SHIPTOCITY	市区町村の名前。 文字の長さ制限 - 半角 100 文字。
SHIPTOSTATE	都道府県。 文字の長さ制限 - 半角 40 文字。
SHIPTOZIP	米国の ZIP コードまたはその他の国の郵便番号。 文字の長さ制限 - 半角 40 文字。
SHIPTOCOUNTRYCODE	正式国名。 文字の長さ制限 - 半角 20 文字。
SHIPTOPHONENUMBER	国コード。 文字の長さ制限 - 半角 2 文字。
SHIPTOPHONENUM	国コード。 文字の長さ制限 - 半角 2 文字。

支払い情報フィールド

表 A.6 支払い情報フィールド

フィールド	説明
TRANSACTIONID	支払いの一意の取引ID。 文字の長さ制限: 半角 17 文字。
PARENTTRANSACTIONID	親取引または関連取引の識別番号。以下のいずれかの取引タイプの場合、このフィールドにデータが自動入力されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 取り消し - 与信取引に対する売上げ。 ● 取り消し - 取引の再与信。 ● 注文の売上げ - ParentTransactionID の値は、元の OrderID です。 ● 注文の与信 - ParentTransactionID の値は、元の OrderID です。 ● 注文与信に対する売上げ。 ● 注文の無効化 - ParentTransactionID の値は、元の OrderID です。 文字の長さ制限 - 16 桁で xxxx-xxxx-xxxx-xxxx の形式
RECEIPTID	受け取り識別番号 文字の長さ制限 - 16 桁で xxxx-xxxx-xxxx-xxxx の形式
TRANSACTIONTYPE	取引タイプ 有効な値: <ul style="list-style-type: none"> ● cart ● express-checkout 文字の長さ制限 - 半角 15 文字
PAYMENTTYPE	支払いが即時におこなわれるか遅れておこなわれるかを示します。 文字の長さ制限 - 半角 7 文字 有効な値: <ul style="list-style-type: none"> ● none ● eCheck ● instant
ORDERTIME	支払いの時刻/日付スタンプ。例: 2006-08-15T17:23:15Z
AMT	マーチャント設定の配送料および税額を含む、最終請求金額。 文字の長さ制限 - いずれの通貨でも \$10,000 USD 相当を超えないこと。通貨記号なし。通貨に関係なく、小数点記号はピリオド(.)を使用し、オプションの桁区切り記号はコンマ(,)を使用します。USD の場合、最大 9 文字に相当します。
CURRENCYCODE	3 桁の通貨コード。

表 A.6 支払い情報フィールド

フィールド	説明
FEEAMT	取引にかかる PayPal 手数料の金額 文字の長さ制限 - いずれの通貨でも \$10,000 USD 相当を超えないこと。通貨記号なし。通貨に関係なく、小数点記号はピリオド (.) を使用し、オプションの桁区切り記号はコンマ (,) を使用します。USD の場合、最大 9 文字に相当します。
SETTLEAMT	通貨換算後に PayPal アカウントに入金される金額。
TAXAMT	取引に課される税金。 文字の長さ制限 - いずれの通貨でも \$10,000 USD 相当を超えないこと。通貨記号なし。通貨に関係なく、小数点記号はピリオド (.) を使用し、オプションの桁区切り記号はコンマ (,) を使用します。USD の場合、最大 9 文字に相当します。
EXCHANGERATE	通貨換算が発生した場合の外貨換算レート。メインの通貨以外の通貨で請求している場合のみ適用されます。顧客がメインの通貨以外の通貨での支払いを選択した場合、その顧客のアカウントで通貨換算が行われます。 文字の長さ制限 - 小数点を含め 17 文字を超えない小数。

表 A.6 支払い情報フィールド

フィールド	説明
PAYMENTSTATUS	<p>支払いのステータス。 以下の支払いステータスがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● None - ステータスなし ● Canceled-Reversal - 支払い取り消しがキャンセルされました。たとえば、異議でマーチャントに有利な結果となり、取り消しの資金がマーチャントに戻された場合です。 ● Completed - 支払いが完了し、アカウント残高に正常に入金されました。 ● Denied - マーチャントが支払いを拒否しました。この状況が発生するのは、支払いが以前に未決済であった場合のみです。未決済の理由としては、PendingReason 要素で記述された理由が考えられます。 ● Expired - この支払いの与信期限に達しています。 ● Failed - 支払いが成立しませんでした。この状況が発生するのは、支払いが顧客の銀行口座からおこなわれた場合のみです。 ● In-Progress - 取引は終了していません。たとえば、与信処理中の場合があります。 ● Partially-Refunded - 支払いの一部が払い戻されました。 ● Pending - 支払いが未決済です。詳細については、PendingReason フィールドを参照してください。 ● Refunded - 支払いを払い戻しました。 ● Reversed - チャージバックまたはその他のタイプの取り消しにより、支払いは取り消されました。金額がアカウント残高から差し引かれ、買い手に返還されました。支払い取り消しの理由は、ReasonCode 要素で指定されます。 ● Processed - 支払いが受け取られました。 ● Voided - この取引の与信が取り消されました。

表 A.6 支払い情報フィールド

フィールド	説明
PENDINGREASON	<p>注： PaymentStatus が Pending の場合のみ、レスポンスで PendingReason が返されます。</p> <p>支払いが未決済の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ● none - 未決済の理由なし。 ● address - 顧客に確認済み配送先が含まれておらず、マーチャントの支払い受領設定がこのような支払いを個別に手動で受領または拒否するよう設定されているため、支払いが未決済です。設定を変更するには、「個人設定」の「設定」セクションに進みます。 ● authorization - 支払いは、与信処理されているが決済されていないため、未決済です。最初にその資金を回収する必要があります。 ● echeck - eCheck による支払いがおこなわれたが、まだ決済されていないため支払いが未決済です。 ● intl - マーチャントが米国以外のアカウントを所有しており、振替の機能がないため支払いが未決済です。「マイ アカウント」からこの支払いを手動で受け取るか拒否する必要があります。 ● multi-currency - 支払われる通貨での残高がなく、また支払い受領設定でこの支払いを自動的に換算して受け取るように設定していません。この支払いを手動で受け取るか拒否する必要があります。 ● order - この支払いは与信処理されたが決済されていない注文の一部であるため、未決済です。 ● paymentreview - 支払いが未決済で、リスクについて PayPal が検討中です。 ● unilateral - まだ登録されていないか確認されていないメールアドレスに対して支払いが行われたため、支払いが未決済です。 ● verify - マーチャントの認証が終わっていないため、支払いが未決済です。この支払いを受け取るには、アカウントの認証を実行する必要があります。 ● other - 上記以外の理由で支払いが未決済です。詳しくは、PayPal カスタマーサービスまでお問い合わせください。

表 A.6 支払い情報フィールド

フィールド	説明
REASONCODE	TransactionTypeが reversal の場合の取消し理由 <ul style="list-style-type: none"> • none - 理由コードなし。 • chargeback - 顧客によるチャージバックのため、この取引で支払い取り消しが発生しました。 • guarantee - 顧客によって払戻し保証が要求されたため、この取引で支払い取消しが発生しました。 • buyer-complaint - 取引に関するクレームが顧客からあったため、この取引で支払い取消しが発生しました。 • refund - 顧客に払い戻したため、この取引で支払い取り消しが発生しました。 • other - 上記以外の理由により、この取引で支払い取り消しが発生しました。
PROTECTIONELIGIBILITY	バージョン 64.4 以降、その取引に対して有効な売り手保護の種類。以下の値のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • Eligible – 未承認の支払いおよび商品未受領の場合、売り手は PayPal の売り手保護ポリシーによって保護されます。 • ItemNotReceivedEligible – 商品未受領の場合、売り手は PayPal の売り手保護ポリシーによって保護されます。 • UnauthorizedPaymentEligible – 未承認の支払いの場合、売り手は PayPal の売り手保護ポリシーによって保護されます。 • Ineligible – 売り手は売り手保護ポリシーによって保護されません。

支払い商品情報フィールド

表 A.7 支払い商品情報フィールド

フィールド	説明
INVNUM	元の取引で設定した請求書番号。 文字の長さ制限 - 半角英数字 127 文字
CUSTOM	元の取引で設定したカスタムフィールド。 文字の長さ制限 - 半角英数字 127 文字
NOTE	PayPal ウェブペイメントの注記フィールドに顧客が入力したメモ。 文字の長さ制限 - 半角英数字 255 文字
SALESTAX	支払いに対して請求される税額。

支払い商品フィールド

表 A.8 支払い商品フィールド

フィールド	説明
L_DESCn	n 番目の商品の説明。 これらのパラメータは、0 から順に指定する必要があります (たとえば、L_DESC0、L_DESC1)。
L_NUMBERn	売り手が設定した商品番号。ショッピングカート取引の場合、PayPal により商品の番号が HTML の item_number 変数に付加されます。たとえば、item_number1、item_number2、などとなります。 文字の長さ制限 - 半角英数字 127 文字。 これらのパラメータは、0 から順に指定する必要があります (たとえば、L_NUMBER0、L_NUMBER1)。
L_QTYn	売り手が設定した数量、または顧客が入力した数量。 文字の長さ制限 - 制限なし。
L_AMTn	商品原価。 これらのパラメータは、0 から順に指定する必要があります (たとえば、L_AMT0、L_AMT1)。
L_OPTIONSNAMEn	ショッピングカート内の商品の PayPal オプション名。それぞれの名前はオプション値に対応します。商品ごとに複数のオプション名が可能です。 オプション名は、0 から順に指定する必要があります (たとえば、L_OPTIONSNAMES0、L_OPTIONSNAME1)。
L_OPTIONSVALUEn	ショッピングカート内の商品のオプション名に対応する PayPal オプション値。 オプション名は、0 から順に指定する必要があります (たとえば、L_OPTIONSVALUE0、L_OPTIONSVALUE1)。

オークションフィールド

表 A.9 オークションフィールド

フィールド	説明
BUYERID	顧客のオークション ID
CLOSINGDATE	オークション終了日
MULTIITEM	複数商品のオークション支払いに使用されるカウンタ

購読条件フィールド

表 A.10 購読条件フィールド

フィールド	説明
AMT	1回の支払いで購読者に請求される金額。 文字の長さ制限 - 制限なし
PERIOD	購読者に請求が行われる期間。 文字の長さ制限 - 制限なし

RefundTransaction API

取引に関連する PayPal アカウント保有者への払い戻しをおこないます。

- [RefundTransaction リクエスト](#)
- [RefundTransaction レスポンス](#)

RefundTransaction リクエスト

表 A.11 RefundTransaction リクエストフィールド

フィールド	説明
METHOD	RefundTransaction である必要があります。
TRANSACTIONID	(必須)取引に固有の識別子。 文字の長さ制限 - 半角英数字 17 文字。
REFUNDTYPE	(必須)実行する払い戻しのタイプ <ul style="list-style-type: none">• Other• Full• Partial
AMT	払い戻し金額。RefundType が Partial の場合は、金額が必要です。 注： RefundType が Full の場合は、金額を設定しないでください。
NOTE	(オプション)払い戻しに関するカスタムメモ。 文字の長さ制限 - 半角英数字 255 文字。

RefundTransaction レスポンス

表 A.12 RefundTransaction レスポンスのフィールド

フィールド	説明
REFUNDTRANSACTIONID	払戻しの固有の取引ID。 文字の長さ制限 - 半角英数字 17 文字。
FEEREFUNDAMT	元の支払い受取人に払い戻される取引手数料。
GROSSREFUNDAMT	元の支払人に払い戻される金額。
NETREFUNDAMT	この払戻しを行うために、元の支払い受取人の PayPal 残高から差し引かれる金額。

DoCapture API

与信に対する売上げ処理をします。

- [DoCapture リクエスト](#)
- [DoCapture レスポンス](#)

DoCapture リクエスト

表 A.13 DoCapture リクエストのフィールド

フィールド	説明
METHOD	(必須) DoCapture である必要があります。
AUTHORIZATIONID	(必須) 回収する支払いの承認ID番号。これは、DoExpressCheckoutPayment または DoDirectPayment から返される取引IDです。 文字の長さ制限 - 最大で半角 19 文字。
AMT	(必須) 売上げる金額。 制限 - 値は正の数値で、いずれの通貨でも \$10,000 USD 相当額を超えることはできません。通貨記号はありません。小数点以下 2 桁とし、小数点記号はピリオド(.)を使用し、オプションの桁区切り記号はコンマ(,)を使用しなければなりません。
CURRENCYCODE	(オプション) 3 桁の通貨コード初期設定: USD

表 A.13 DoCapture リクエストのフィールド

フィールド	説明
COMPLETETYPE	<p>(必須) 値 Complete は、これが最後の売上げであることを示します。</p> <p>値 NotComplete は、さらに売上げる予定があることを示します。</p> <p>注： Complete の場合、承認済みの取引の残額は自動的に無効になり、残りの未決済の承認はすべて無効になります。</p> <p>文字の長さ制限 - 半角英数字 12 文字。</p>
INVNUM	<p>(オプション) 取引履歴でマーチャントおよび顧客に対して表示される請求書番号またはその他の識別番号。</p> <p>注： DoCapture のこの値は、以前に DoAuthorisation に設定された値を上書きします。</p> <p>注： 売上げる与信が基本承認ではなく注文承認の場合のみ、この値が記録されます。</p> <p>文字の長さ制限 - 半角英数字 127 文字</p>
NOTE	<p>(オプション) この決済に関して支払人へのメールおよび取引履歴に表示される情報注記。</p> <p>文字の長さ制限 - 半角 255 字。</p>

表 A.13 DoCapture リクエストのフィールド

フィールド	説明
SOFTDESCRIPTOR	<p>(オプション) このソフト記述子は、顧客のクレジットカード利用明細書に渡される取引ごとの支払いの説明です。</p> <p>ソフト記述子フィールドの値が入力されると、記述子全体は、顧客の利用明細書に以下の形式で表示されます。</p> <p><PP * PAYPAL * \> <支払い受取り設定で設定されたマーチャント記述子 \> <空白 1 つ \> <ソフト記述子 \></p> <p>ソフト記述子に使用できる文字は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 英数字 ● -(ダッシュ) ● *(アスタリスク) ● .(ピリオド) ● {空白} <p>他の文字(たとえば“,”)を使用すると、エラーコードが返されます。</p> <p>ソフト記述子には電話番号を含めません。電話番号は、マーチャントのカスタマーサービス番号とPayPalのカスタマーサービス番号の間で切り替えられる可能性があるためです。</p> <p>ソフト記述子全体の文字数は最大で22文字です。このうち4文字または8文字は、データ形式に表示されるPayPal接頭辞によって使用されます。したがって、APIリクエストで渡されるソフト記述子の最大文字数は次のように求められます。</p> <p>$22 - \text{len}(\text{<PP * PAYPAL * \>}) - \text{len}(\text{<支払い受取り設定で設定された記述子 \>}) + 1$</p> <p>たとえば、次のような状況を仮定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PayPal接頭辞トグルがPayPalの管理ツールでPAYPAL*に設定されている。 ● マーチャント記述子が支払い受け取り設定でEBAYに設定されている。 ● ソフト記述子はJanesFlowerGifts LLCとして渡される。 <p>この結果、クレジットカードの記述子の文字列は次のようになります。</p> <p>PAYPAL*EBAY JanesFlow</p>

DoCapture レスポンス

- DoCapture レスポンスのフィールド
- PayerInfo タイプのフィールド
- 配送先住所フィールド
- 支払人名フィールド

注： バージョン 56.0 以降の DoCapture API を使用する場合、返り値が保証されるのは、与信 ID、取引 ID、取引タイプ、支払日、総額、および支払いステータスのみです。その他のフィールドの値が必要で、その値が返されない場合は、あとで GetTransactionDetails をコールするか、レポートメカニズムを使用して値を取得できます。

DoCapture レスポンスのフィールド

表 A.14 DoCapture レスポンスのフィールド

フィールド	説明
AUTHORIZATIONID	リクエストで指定した与信識別番号。 文字の長さ制限 - 最大で半角 19 文字。

PayerInfo タイプのフィールド

表 A.15 PayerInfo タイプのフィールド

フィールド	説明
EMAIL	支払人のメールアドレス。 文字の長さ制限 - 半角 127 文字。
PAYERID	固有の PayPal 顧客アカウント識別番号。 文字の長さ制限 - 半角英数字 13 文字。
PAYERSTATUS	支払人のステータス。有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • verified • unverified 文字の長さ制限 - 半角英字 10 文字。
COUNTRYCODE	ISO 標準 3166 の 2 文字の国コード形式で表された、支払人の居住国。 文字の長さ制限 - 半角文字 2 文字。
BUSINESS	支払人の事業者名。 文字の長さ制限 - 半角 127 文字。

配送先住所フィールド

表 A.16 配送先住所フィールド

フィールド	説明
ADDRESSSTATUS	PayPal に記録されている住所のステータス。 有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• none• Confirmed• Unconfirmed
SHIPTONAME	この住所が登録されている個人の名前。 文字の長さ制限 - 半角 32 文字。
SHIPTOSTREET	住所の 1 行目。 文字の長さ制限 - 半角 100 文字。
SHIPTOSTREET2	住所の 2 行目。 文字の長さ制限 - 半角 100 文字。
SHIPTOCITY	市区町村の名前。 文字の長さ制限 - 半角 40 文字。
SHIPTOSTATE	都道府県。 文字の長さ制限 - 半角 40 文字。
SHIPTOZIP	米国の住所の場合のみ必須です。 米国の ZIP コードまたはその他の国の郵便番号。 文字の長さ制限 - 半角 20 文字。
SHIPTOCOUNTRYCODE	国コード。 文字の長さ制限 - 半角 文字 2 文字。

支払人名フィールド

表 A.17 支払人名フィールド

フィールド	説明
SALUTATION	支払人の敬称。 文字の長さ制限 - 半角 20 文字。
FIRSTNAME	支払人の名。 文字の長さ制限 - 半角 25 文字。
MIDDLENAME	支払人のミドルネーム。 文字の長さ制限 - 半角 25 文字。
LASTNAME	支払人の姓。 文字の長さ制限 - 半角 25 文字。
SUFFIX	支払人のサフィックス。 文字の長さ制限 - 半角 12 文字。

ウェブ ペイメント スタンダードから ウェブペイメントプラスへの移行

ウェブ ペイメント スタンダードからウェブペイメントプラスに移行する場合、次の変更が必要です。

1. FORM タグで、action 属性の cmd 値を次のように変更します。

変更前:

```
<form action="https://www.paypal.com/cgi-bin/webscr" method="post">  
<input type="hidden" name="cmd" value="_xclick">
```

to:

```
<form  
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/  
webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess?cmd=_hosted-payment"  
method="post"><input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
```

2. HTML 変数 amount を subtotal に変更します。

注： ウェブ ペイメント スタンダード にはそれぞれ amount および quantity の値がありますが、ウェブペイメントプラス では subtotal のみを使用します。小計には、適用する割引や商品の数量を考慮した上で、買い手に請求する金額を含めるようにしてください。

3. 色や背景など、支払いフローをカスタマイズしている場合は、ウェブペイメントプラスについてそれらの設定を再度行う必要があります。支払いページの外観のカスタマイズについては、[21 ページの第3章「PayPal 支払いページのカスタマイズ」](#)を参照してください。

サンプルコードの比較

以下で、ウェブ ペイメント スタANDARDのコードとウェブペイメントプラスのコードを比較します。

注： 下記のサンプルで、ウェブ ペイメント スタANDARDについて、amount および quantityがそれぞれ10と2に指定されていることに注意してください。ウェブ ペイメントプラスについて、subtotalが20となっていますが、これは上記の amount と quantity の積です。これは太字で表示されています。


サンプルのウェブペイメントスタンダードのコード

```
<form
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">
<input type="hidden" name="cmd" value="_xclick">
<input type="hidden" name="business" value="seller@designerfotos.com">
<input type="hidden" name="amount" value="10">
<input type="hidden" name="quantity" value="2">
<input type="hidden" name="tax" value="1">
<input type="hidden" name="currency_code" value="USD">
<input type="hidden" name="invoice" value="MEM32507725">
<!-- Enable override of payer's stored PayPal address. -->
<input type="hidden" name="address_override" value="1">
<!-- Set prepopulation variables to override stored address. -->
<input type="hidden" name="first_name" value="John">
<input type="hidden" name="last_name" value="Doe">
<input type="hidden" name="address1" value="345 Lark Ave">
<input type="hidden" name="city" value="San Jose">
<input type="hidden" name="state" value="CA">
<input type="hidden" name="zip" value="95121">
<input type="hidden" name="country" value="US">
<input type="hidden" name="bn" value="CC_Partner_WPS">
<input type="hidden" name="notify_url" value="https://www.paypal.com/IPN/">
<input type="image" name="submit" border="0"
src="https://www.paypal.com/img.gif ">
</form>
```

サンプルウェブペイメントプラスコード

```
<form
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess?cmd=_hosted-payment"
method="post"><input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
<input type="hidden" name="business" value="HNZ3QZMCPBAAA">
<input type="hidden" name="subtotal" value="20">
<input type="hidden" name="paymentaction" value="sale">
<input type="hidden" name="currency_code" value="USD">
<input type="hidden" name="invoice" value="MEM32507725">
<input type="hidden" name="template" value="TemplateB">
<!-- Enable override of payer's stored PayPal address. -->
<input type="hidden" name="address_override" value="true">
<input type="hidden" name="showShippingAddress" value="false">
```

```
<!-- Set prepopulation variables to override stored address. -->
<input type="hidden" name="first_name" value="John">
<input type="hidden" name="last_name" value="Doe">
<input type="hidden" name="address1" value="345 Lark Ave">
<input type="hidden" name="city" value="San Jose">
<input type="hidden" name="state" value="CA">
<input type="hidden" name="zip" value="95121">
<input type="hidden" name="country" value="US">
<input type="hidden" name="billing_first_name" value="John">
<input type="hidden" name=" billing_last_name" value="Doe">
<input type="hidden" name=" billing_address1" value="345 Lark Ave">
<input type="hidden" name=" billing_city" value="San Jose">
<input type="hidden" name=" billing_state" value="CA">
<input type="hidden" name=" billing_zip" value="95121">
<input type="hidden" name=" billing_country" value="US">
<input type="hidden" name="bn" value="CC_Partner_H3S">
<input type="hidden" name="notify_url" value="https://www.paypal.com/IPN/">
<input type="image" name="submit" border="0"
src="https://www.paypal.com/img.gif ">
</form>
```



ウェブ ペイメント スタンドアードからウェブペイメントプラスへの移行



エラーメッセージ

エラーコード番号またはエラーメッセージを検索するには、「[PayPal APIエラーコード](#)」ページを参照してください。



エラーメッセージ



通貨コード

次の表は、PayPal でサポートされるすべての通貨を一覧にしたものです。

表 D.1 通貨コード

通貨コード	国名
AUD	オーストラリアドル
CAD	カナダドル
CHF	スイスフラン
CZK	チェココルナ
DKK	デンマーククローネ
EUR	ユーロ
GBP	英ポンド
HKD	香港ドル
HUF	ハンガリーフォリント
JPY	日本円
NOK	ノルウェークローネ
NZD	ニュージーランドドル
PLN	ポーランドズロティ
SEK	スウェーデンクローナ
SGD	シンガポールドル
USD	米国ドル



通貨コード

索引

A

address_override 17
address1 17
address2 17
API インテグレーション 49

B

billing_address1 17
billing_address2 17
billing_city 17
billing_country 17
billing_first_name 17
billing_last_name 17
billing_state 17
billing_zip 17
BMCreateButton API 49
BMCreateButton API オペレーション 55
BMCreateButton エラー 56
BMCreateButton リクエスト 55
BMCreateButton リクエストフィールド 55
BMCreateButton レスポンス 56
BMCreateButton レスポンスのフィールド 56
bn 17
bodyBgColor 39
bodyBgImg 39
business 17
BUTTONCODE 55
BUTTONCODE=CLEARTEXT 49
BUTTONCODE=ENCRYPTED 49
BUTTONCODE=HOSTED 49
BUTTONCODE=TOKEN 49
BUTTONTYPE 55
BUTTONTYPE=PAYMENT 49
buyer_email 17

C

cancel_return 18
cvt 18

city 18
CLEARTEXT 49
country 18
currency_code 18
custom 18

D

DoCapture API 86

E

EMAILLINK 47, 50, 56
ENCRYPTED 49

F

first_name 18
footerTextColor 39

G

GetTransactionDetails API 65, 75

H

handling 18
headerBgColor 39
headerHeight 39
HOSTED 49
HOSTEDBUTTONID 56
HTML インテグレーション 15
HTTP 変数 17

I

iFrame 43
iFrame の API インテグレーション 46
iFrame の手動インテグレーション 44
InputFile 73
invoice 18

L

L_BUTTONVAR 55
last_name 18
lc 18
logoFont 39
logoFontColor 40
logoFontSize 40
logoImage 40
logoImagePosition 40
logoText 40

M

METHOD 55

N

night_phone_a 18
night_phone_b 18
night_phone_c 18
notify_url 18

O

orderSummaryBgColor 40
orderSummaryBgImage 40
OutputFile 73

P

pageButtonBgColor 40
pageButtonTextColor 40
pageTitleTextColor 40
paymentaction 18
PCI コンプライアンス 11
PPCertFile 73

R

RefundTransaction API 85
return 19

S

sectionBorder 40
shipping 19

showBillingAddress 40
showBillingEmail 40
showBillingPhone 40
showCustomerName 40
showHostedThankyouPage 40
showShippingAddress 41
state 19
subheaderText 41
subtotal 19

T

tax 19
template 41
TOKEN 49

W-Z

WEBSITECODE 47, 51, 56
zip 19
暗号化 53
暗号化処理 68
暗号化ボタン 49
以前のバージョン 32
外観 31
概要 11
公開鍵 53, 68
公開鍵証明書
削除 71
生成 69
アップロード 69
ダウンロード 71
支払いページのカスタマイズ 21
取引のステータス 63
設定 23
即時支払い通知 (IPN) 64
注文処理 63
注文の概要列 37
通貨コード 99
背景 37
秘密鍵 53, 68
生成 69
保存して公開 32

ア

アカウント設定の変更 22

イ

インテグレーション

API 49

HTML 15

インテグレーションのテスト 57

エ

エクスプレス チェックアウト 13

エラーメッセージ 97

オ

オプションの API オペレーション 75

シ

シンプルなインテグレーション 15

タ

タイトル 37

テ

テンプレートのカスタマイズ 37

ト

トークンボタン 49

フ

プレビュー 32

ヘ

ヘッダー 37

ホ

ボタンのホスティング 49

暗号化ボタン 49

トークンボタン 49

ボタンマネージャ API 49

